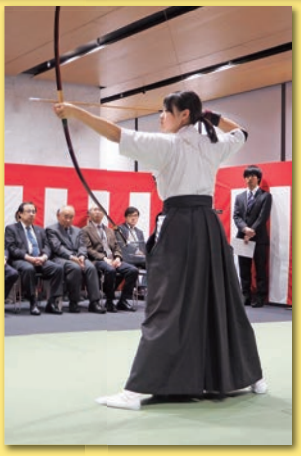
TDC

2017
No.407
2

Tokyo Dental College Alumni Association



東京歯科大学同窓会会報

東京歯科大学同窓会会報　第407号

目　　次

グラビア　ふるさと自慢
巻 頭 言……1
お知らせ……2～5
重点事業へのアプローチ……6～7
会　　務……8～17
理事会のうごき……18
事業推進部……19
準会員のページ……20
支部のうごき……21～32
クラス会だより……33～37
OB 会・グループ・サークルだより ……38
すいどうばし……39～41
庶務日誌……42
逝去会員……43
追　　悼……44
投稿規定……45
へんしゅうこうき……46

表紙写真の説明

・「紅梅とメジロ」日時：2017年２月１日
　場所：横浜市西区中央　戸部公園
　昭和60年卒　横浜中央支部　皆川　雅彦先生　撮影
・会務　平成28年度評議員会報告
　　平成28年度都道府県代表者会報告
・準会員のページ　平成29年武道始め開催
　　少林寺拳法部　弓道部　空手道部
・クラス会だより　新葉会昭和63年卒

ふるさと自慢　～私のお気に入り～

見どころいっぱい深川

深　　川

深川は東京都江東区の西側で，言わずと知れた人情厚い下町の風情がただよう地域です。

江戸三大祭りの一つとして有名な深川祭りは，富岡八幡宮の祭礼で３年ごとの８月15日前後に本祭りが行われます。暑さよけに水をかけることから，「水かけ祭り」とも呼ばれます。手でちょっと水を振りかけるだけかと思いきや，大きなバケツやひしゃくで思いっきりよく水をかける様は壮観です。鳥居をくぐると左側にそれは大きなお神輿が飾られていて，祭事以外にもその姿をみることができます。

また現代美術館を含む広大な敷地の木場公園はテニスコートやバーベキュー広場もあり，秋の区民祭りもここが会場となります。もちろん江東区歯科医師会もブースをだして参加します。園内には桜の木が多く点在しており都内有数の桜の名所となっております。また周囲の川沿いにも桜が多く，春には目を楽しませてくれます。

この他にも，庭園としての評価が高く桜と紅葉の美しい清澄庭園や，キッザニア東京で有名なララポートがあり，高層マンションの立ち並ぶ豊洲やガンダムやフジテレビや観覧車のあるお台場など見どころ満載の地域です。

富岡八幡宮

伊能忠敬像

焙煎カフェゾーンとしておしゃれな店が増えた清澄白河も今，熱い地域です。長蛇の列ができたことで有名になったブルーボトルコーヒー，ALL PRESS，また熱々のブリオッシュに冷たいアイスを挟んで人気のお店ブリジェラ等々，あげればきりがありません。

昔から有名な馬肉のみの家，煮込みの山利喜，日本で初めてカレーパンをだしたパン屋のカトレアなど，新旧のグルメも満載です。

この地に住んでいた平賀源内，松尾芭蕉，伊能忠敬もきっとびっくりしていることでしょう。この楽しい深川をどうぞ一度お訪ねください。

（昭和60年卒　藤関雅子）

猿江恩賜公園（元々は幕府の貯木場）内の桜と横十間川から猿江恩賜公園の桜を望む　奥に見えるのはスカイツリーと都立墨東病院（右奥）

（昭和57年卒　中澤　章　写真）

巻　頭　言

同窓会の重要課題とその対応にあたって

総務厚生部常任理事

中　島　信　也

平成28年１月より総務厚生部の主任を仰せつかりました，昭和59年卒の中島信也と申します。第１期大山執行部以来，６年のブランクを経て再度総務を担当させていただいております。第３期矢﨑執行部も，任期の半分が経過しましたが昨年度には熊本地震への対応，新設された都道府県代表者会の開催など，新たな事業執行を含め多くの事業にあたってまいりました。会員の皆様には，会務へのご理解と多大なるご支援をいただき事業執行にあたらせていただいておりますことに，この場をお借りして御礼申し上げます。

さて，昨年の都道府県代表者会では新たな試みとして各都道府県間の連携，本部との双方向の情報交換を行うことも目的として開催され，多くの意見交換や協議がなされました。特に支部未加入者に対する対応につきましては，各都道府県においても共通の課題として挙げられており，各都道府県や地域において様々な工夫が行われていることが報告されました。その対応は，若手の会員の支部加入をいかにスムーズに進めていくかということに終始し，いずれの支部，地域連合会においても大学との連携が必須であることと結論付けられました。現在大学卒業時に同窓会入会手続きとして，連絡先と帰省先を提出いただき会員台帳に記入しておりますが，その後臨床研修を終了した時点で，もしくは大学の医局を離れた時点で移動先の該当支部に加入されないケースが多くあることから，支部未加入の状態になっていることが多く挙げられております。この所属先が変更になるときに本部が十分な把握ができるようなシステムの構築を図ることが喫緊の課題であると考えますが，卒業後は多くの会員が大学に所属する現状にあることから，大学でも移動に際してその把握を十分にしていただき，会員情報に関する本部との連携は勿論のこと，各支部との連携もとれるようにしていくことが重要であります。なるべく早い時期に支部・本部・大学間の情報交換がスムーズに行われるようなシステムの構築を図っていこうと考えております。

さらに今年度の最重要課題には，昨年の評議員会で協議いただいた共済制度の抜本的な改定に関わる検討があげられております。この問題については，評議員会で纏められました共済制度の根本的な改定を軸に昨年12月14日付で総務厚生委員会にその検討を諮問したところでありますが，会員にとって重要な問題ですので，会員の意見を反映した検討を行うために，３月末ごろまでに各支部のご意見としていただく事にしております。会員の皆様におかれましては，各支部長に多くのご意見をお出しいただきますようお願いいたします。執行部と致しましては，それらのご意見も考慮し本年度の評議員会に上程すべく慎重に協議を進めていく所存です。

この一年には，このように多くの重要課題についての対応が求められておりますので，会員の皆様の益々のご理解とご支援をお願いいたします。

お　知　ら　せ

理事会より

●理事会では，昨年11月の都道府県代表者会および評議員会でのご意見について様々な検討を続けています。また，共済制度の改革についての考え方を次回の評議員会に提案できるように，理事会としての意見をまとめる方向に向けて討議を開始しています。
本年もよろしくお願いいたします。

同窓会事業・行事

●平成29年度東京歯科大学同窓会評議員会
　と　き　平成29年11月予定（詳細未定）

●TDC アカデミア2017
・卒後研修
・医療教養
・臨床セミナー
日程は４ページ参照

地域支部連合会・支部関係

●地域支部連合会会長の交代
平成28年12月31日付
東海地域支部連合会　成瀬　　健 氏（昭50卒）
　　前連合会長　神田　潤二 氏（昭50卒）

平成29年１月１日付
東北地域支部連合会　本田　富彦 氏（昭49卒）
　　前連合会長　鈴木　雅夫 氏（昭44卒）
関東地域支部連合会　春山　良夫 氏（昭46卒）
　　前連合会長　引田　正俊 氏（昭52卒）

●支部長交代
平成28年12月31日付
大分県支部　　田中　一秀 氏（昭49卒）
　　前支部長　　吉武　　勝 氏（昭44卒）

平成29年１月１日付
千代田支部　　吉井　一雄 氏（昭51卒）
　　前支部長　　山田　茂子 氏（昭47卒）

麹町支部	関谷　実	氏（昭52卒）
前支部長	下江信太郎	氏（昭44卒）
浅草支部	藤関　雅嗣	氏（昭56卒）
前支部長	中野　正博	氏（昭55卒）
豊島支部	上山　裕之	氏（昭58卒）
前支部長	寺田　誠	氏（昭47卒）
深川支部	中澤　章	氏（昭57卒）
前支部長	大浦　好章	氏（昭55卒）
島根県支部	竹原　茂央	氏（昭59卒）
前支部長	山本　昭彦	氏（昭46卒）
鹿児島県支部	森原　和久	氏（昭51卒）
前支部長	吉嶺　光	氏（昭50卒）

母校関係行事・案内

●第122回東京歯科大学卒業証書・学位記授与式
　と　き　平成29年３月15日（水）
　ところ　東京歯科大学水道橋校舎新館　血脇記念ホール

●平成29年度東京歯科大学入学式
　と　き　平成29年４月５日（水）
　ところ　東京歯科大学水道橋校舎新館　血脇記念ホール

●東京歯科大学歯科衛生士専門学校卒業式
　と　き　平成29年３月10日（金）
　ところ　ホテル　ザ・マンハッタン

●東京歯科大学短期大学歯科衛生学科入学式
　と　き　平成29年４月４日（火）
　ところ　東京歯科大学水道橋校舎新館　血脇記念ホール

●平成29年度東京歯科大学学会
　第303回例会　平成29年６月３日（土）東京歯科大学水道橋校舎新館
　　演題締切　４月４日（火）正午

ご家族の会員（夫婦，親子，兄弟等）で，複数冊の同窓会会報送付を希望されない方は，事務局で対応いたしますのでご連絡ください。
なお，会費の減額はございませんので，ご理解いただければ幸いです。

平成29年度　理事会・常任理事会，TDC アカデミア2017，広報部広報委員会
年　間　開　催　日　程　表

理事会・常任理事会		TDC アカデミア2017		広報部広報委員会	
開催日	区　　分	開催日	セミナー名	開催日	作業内容
1月25日(水)	第1回　常任理事会			1月12日(木)	2月号編集
2月25日(土)	第1回　理事会			2月10日(金)	年間企画
3月29日(水)	第2回　常任理事会			3月13日(月)	年間企画
4月15日(土)	第2回　理事会	4月23日(日)	卒後研修 ベーシックセミナー	4月14日(金)	6月号企画
5月24日(水)	第3回　常任理事会	5月20日(土)	臨床セミナー エンドセミナー	5月12日(金)	6月号編集
		5月21日(日)	臨床セミナー エンドセミナー		
6月17日(土)	第3回　理事会	6月11日(日)	臨床セミナー Part 1　補綴セミナー Part 2　スポーツ歯科セミナー	6月9日(金)	年間企画
7月26日(水)	第4回　常任理事会	7月9日(日)	臨床セミナー ペリオセミナー	7月19日(水)	年間企画
				8月7日(月)	10月号企画
9月16日(土)	第4回　理事会	9月30日(土)	臨床セミナー MTMセミナー	9月4日(月)	10月号編集
10月18日(水)	第5回　常任理事会	10月1日(日)	臨床セミナー MTMセミナー	10月13日(金)	12月号企画
11月18日(土)	第5回　理事会	11月12日(日)	医療教養 Part 1　リベラルアーツ講座 Part 2　フロントランナーセミナー Part 3　医療教養セミナー	11月10日(金)	12月号編集
12月16日(土)	第6回　理事会			12月13日(水)	2月号企画
(理事会6回・常任理事会5回)		毎月第2水曜日　TDC 研修倶楽部 毎月第3水曜日　デンタルスタッフミーティング 毎月第4木曜日　歯科臨床を語る会		平成30年 1月12日(金)	2月号編集

2016年熊本地震に対してのご支援のお礼

熊本県支部長　**河　野　生　司**

このたびの平成28年４月14日，16日に発生しました熊本地震の被災に対してたくさんのお見舞いの言葉ならびにご支援まことにありがとうございます。

前例のない２度の震度７を経験し余震回数は4,200回を超えました。当初避難所のみで18万人以上も受け入れた避難所はすべて閉鎖され，避難者は仮設住宅，みなし仮設住宅ならびに修復された自宅に引っ越されています。全壊した住宅の解体は熊本県下でまだ20パーセント程度と進まず，半壊や一部損壊の修復はもっと遅れているのが現状です。会員の被害は県央（震源地益城町，近隣の熊本市）に集中しており，県北，県南の会員ならびに診療室には大きな被害はありませんでした。幸いにも道路が寸断された阿蘇地方には会員の診療室はありませんでした。ライフラインの破断で１週間，長いところではそれ以上の休診がありました。会員には大きな怪我もなく仮復旧の診療室もありますが診療に当たっています。

12月４日あいにくの雨の中，矢崎会長には被災地のご視察をいただきました。熊本のシンボルである熊本城の石垣の崩れ，櫓の崩壊ならびに隣接する神社の被害などや水位の低下した水前寺公園（熊本の水道水は100％地下水で水道の心配がされました），益城町では最も被害が大きかった矢毛石歯科を訪問され，解体の始まった自宅，復旧した診療室，地割れの残る庭や駐車場ならびに修復された護岸を視察されました。震源地付近まで足をのばされ，まだ修復途中の橋や道路も冷たい雨の中，長時間の視察をされました。

皆様のご支援誠にありがたく心より感謝申し上げます。

熊本城視察中

やけいし歯科訪問

重点事業へのアプローチ

若手会員との連携
「第４回新進会員のつどい」ご報告　第二弾

第４回新進会員のつどいを振り返って

今回は新進会員の学生時代の父といっても過言ではない，各期の学年主任の教授陣に講演をしていただきました。初めは，忙しい主任の先生方一同にお集まりいただくのは実現が難しいかとも思ったのですが，同窓会の先生方のご支援，実行委員の努力もあって開催にたどり着けました。何よりも，主任の先生が快諾をしてくれたことが幸いでした。それだけでなく，インパクトを重視し，先生方の顔を全面に出すデザインにした今回のポスターに関しても，嫌な顔一つせず写真を提供して下さいました。

当日は学生時代の裏話や，思い出話に加え，各分野でのホットトピック，学生ではなく歯科医師となった今の私たちにとって大切なことが何なのかを，時にユーモアを交えてお話しいただき，非常に有意義な時間となりました。新進会員の皆様も学生の時とは違い歯科医師という視点で話を聞くことにより，いろいろと考えさせられるものになったと思います。

また懇親会では，自分のお世話になった主任教授だけでなく，授業でお世話になった先生方，同期の友人，先輩，後輩と楽しい時間を過ごせる場が提供できたと思っております。中には遠方から飛行機でいらしていた方もいらっしゃいました。この懇親会が各期における同窓会開催の一助になれば幸いです。

最後に，講演してくださった先生方，お忙しい折にも関わらず時間を割いて下さり誠にありがとうございました。また，参加してくださった同窓生の皆様，準備に携わった実行委員の皆様に心より厚くお礼申し上げます。　　第４回新進会員のつどい実行委員会委員長　石川宗理（平成24年卒）

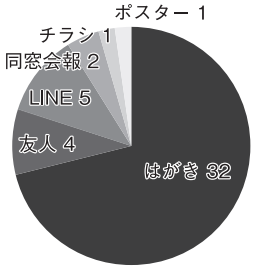
第５回新進会員のつどい実行委員会　委員長挨拶

多くの方々のご支援を頂きながら，この新進会員のつどいも５回目を迎えることとなりました。私は１回目の頃からこのつどいのお手伝いをしてきましたが毎年非常にユニークなテーマで行われてきました。卒業生の進路について，また開業までの道のり，あるいは女性歯科医師の生き方など非常にバラエティーに富んだ内容であったかと思います。他の勉強会では聞くことができないような内容がこの新進会員のつどいの強みではないかと思います。

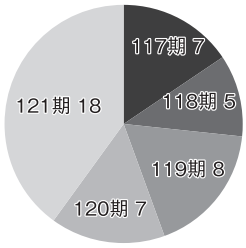
この度，第５回新進会員のつどい実行委員会の委員長を務めさせて頂くこととなりましたが，今年もこの強みを生かし今まで以上に皆さんが興味を持って頂けるような内容を準備できればと考えています。始まったばかりで不慣れな点などもあるかと思いますが，参加者の皆さんが楽しんで頂けるよう取り組んでいきたいと思います。　　第５回新進会員のつどい実行委員会委員長　木村基善（平成25年卒）

第４回　新進会員のつどい　アンケート結果

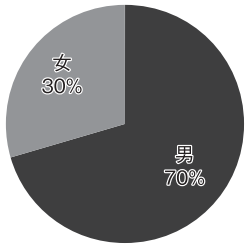
知ったきっかけは？



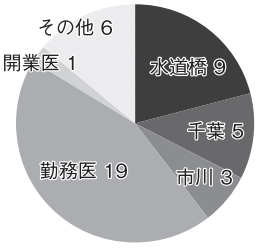
卒業年



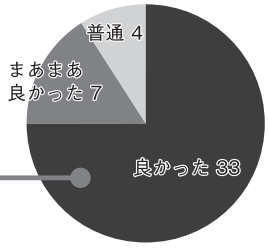
性　別



所　属

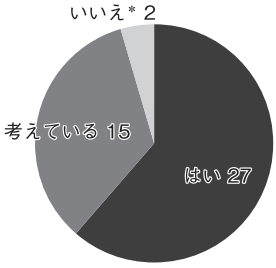


評　価



※あまり良くなかった，良くなかった：０

次回も参加したいか？

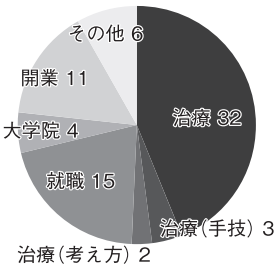


*卒後6年目になるため

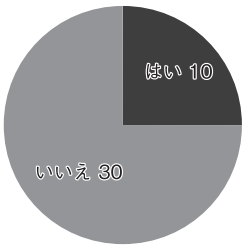
●その理由

- 教授先生方の貴重なお話が聞けた。
- 学年主任の先生方の話を聞いて初心の熱い気持ちを思い出せた。
- 懐かしい主任の先生方の貴重なお話がきけた。
- 卒後に教授陣のご講演を拝聴する機会は少ないので良かったです。
- 臨床，研究という枠にとらわれず先生方が話したいことを話してくださった感じをうけた。
- 今後を考えていくうえで良い機会となった。
- 様々な分野の最先端の先生方にこれからについて考えるための貴重なお話をしていただけて，色々考えることができました。また勉強にもなりました。
- 普段このメンバーの話を無料で聴けるなんてめったにない！
- 各演者の個性豊かなご講演が聞けて良かった。
- これから先どのような歯科医師になるか考えさせられただけでなく，大いにモチベーションを上げることが出来ました。
- 研修医になって色々不安な事がある中での，将来についての話でとても参考になりました。
- なかなか普段聞けない話を聴けたのは良かった。

今後の講演希望



同窓会のセミナーへ参加しているか



●今後の講演希望

- 口外
- 今後必要とされる補綴とは
- 女性歯科医師の進路
- ワークライフバランス
- 人生観
- 海外からのスピーカー
- 定期的に初心に返る機会を作ってほしい。
- 人間形成
- 学生指導

●希望するセミナー内容

- 各科の最新技術の現状や今の歯科業界のニーズなど
- 21世紀型歯科医療を実践している医院のしくみ，とりくみなど
- 開業医で活躍されている同窓の先生の話を聞きたい，臨床に関した話
- DrもDHもどちらも学習できるもの
- ハンズオンセミナーを同窓会価格でよろしくお願いします。
- 休日の昼間に開催してほしい。平日の夜は来にくい。
- ハンズオンセミナー，大学教員の先生と話す機会
- 患者さんへの対応等
- 大学に残った人，開業医，総合病院などに残った方々の意見や近況について知りたい。

check!

次回は，11月５日開催予定です。新進会員の皆さん，集まりましょう！！

平成28年度評議員会報告

今年度から都道府県代表者会が評議員会と同日に行われることとなったため，平成28年度評議員会は時間を短縮し11月20日（日）午後からの開催となった。新たな試みとして，母校のご厚意により，水道橋校舎本館13階の教室が使用された。

叙勲・褒章受章者顕彰式

評議員会の冒頭で，平成27年秋の叙勲（該当者７名），平成28年春の叙勲（同11名），平成28年春の褒章（同１名），高齢者叙勲（同１名）受章者の紹介が行われた（表１に対象者）。当日は27年秋の叙勲受章者から２名の先生が，28年春の叙勲受章者から６名の先生が，また28年春の褒章受章者と高齢者叙勲受章者がそれぞれ出席され，矢﨑秀昭会長より顕彰状と記念品が伝授され，顕彰者を代表して川越文雄先生が謝辞を述べられた。

会長および来賓挨拶

臼井文規専務理事の進行のもと，澁谷國男副会長の開会の辞で平成28年度評議員会は開幕した。評議員定数62名全員の出席があった。

まず矢﨑会長が挨拶に立ち，120周年記念事業の報告，大学に対する連携と支援の現状及びさらなる協力のお願い，同窓会の課題と今後の対応についてなど，幅広く考えが示された（内容については11～12ページ）。

続いて来賓を代表して水野嘉夫理事長（要旨は12～13ページ），井出吉信学長，島村　大参議院議員よりそれぞれご挨拶をいただいた。

臼井文規専務理事

叙勲の先生方

澁谷國男副会長

島村　大参議院議員

大井誠一議長・市川敬一副議長

議長・副議長の選出

議場からの執行部一任の声を受け，議長に大井誠一評議員（関東），副議長に市川敬一評議員（東京）が選出された。議長より４名の評議員の代理出席がある旨の報告があり，承認された。議事録署名人には黒澤祐一評議員（東北），西山　潔評議員（関東）が指名された。また全員でこの１年間の逝去会員に対する黙祷が捧げられた。

報　告

まず，井出学長から「東京歯科大学の現況」について報告があった（詳細は13～15ページ）。さらに29年度から東京歯科大学短期大学歯科衛生学科が開校するため，短期大学学長に就任される石井拓男先生から，短大に関する説明と報告が加えられた。

石井拓男法人主事

臼井専務理事による会務報告は，熊本地震に対する対応，現在の執行部の体制，120周年記念事業の報告，運営の重点項目，事業内容，同窓会の抱える問題点など広範囲にわたった。

福本恵吾常任理事からは平成28年度会計現況報告および共済金現況報告があった。

高原正明評議員（関東）より鳥取地方の地震に対する対応についての質問があり，臼井専務理事から，特に募金等を行う予定はない旨の回答があった。

福本恵吾常任理事

高原正明評議員（昭和52年卒・関東）

議　事

第１号議案は河田英司名誉教授を名誉会員に推薦するものであり，満場一致で承認された。

第２号議案は，いわゆる推薦会員に対する共済規程の一部改正に係るものであり，異論なく可決された。なおこれに伴い会則施行細則第１条１項五が削除されることとなる。

第３号議案から第７号議案は平成27年度決算に関する議案で，一括上程された。第３号議案から第６号議案については福本常任理事が，第７号議案については中島常任理事が説明したうえで，春山良夫常任監事が監査報告を行い，逐条審議，採決が行われた。岡野昌治評議員（東京）から時局対策費積立金の支出について質問があったが，いずれも原案通り可決・確定した。

中島信也常任理事

古澤博行評議員（昭和51年卒・東京）

黒澤祐一評議員（昭和51年卒・東北）

春山良夫常任監事

新倉良一評議員（昭和50年卒・関東）

岡野昌治評議員（昭和52年卒・東京）

木俣　茂評議員（昭和51年卒・関東）

鈴木雅夫評議員（昭和44年卒・東北）

福﨑博生評議員（昭和57年卒・四国）

第８号議案から10号議案は平成29年度事業計画，入会金・会費，経常部収支予算に係るものである。事業計画については臼井専務理事が，その他については福本常任理事が説明し，逐条で審議された。会費について木俣　茂評議員（関東）から値上げを求める意見があったが，３議案とも原案通り可決・確定した。これにより平成29年度の卒後６年目から10年目の会員は新進会員と同額の会費となることが決った。また古澤博行評議員（東京）から，１カ所に複数の会報が送られてくることと会費との関連を問う発言があり，臼井専務理事から，届け出をしていただければ１冊のみ送付することは可能であるが，会費は別の問題との回答があった。

その後，第11号議案から15号議案として平成29年度の「共済負担金」,「特別会計収支予算①高山・血脇記念同窓会基金」,「特別会計収支予算②共済基金，名簿積立金，退職積立金」,「卒後研修セミナー，積立金収支予算」,「時局対策費積立金収支予算」が上程され，いずれも原案通り可決・承認された。高山・血脇記念同窓会基金では，母校に対する水道橋校舎施設設備整備資金の寄付として，１千万円の支出が認められた。

協　議

執行部から「共済制度について」の協議題が提示された。中島常任理事から，現行の共済制度は平成25年度の評議員会で承認されたが，５年後の見直しが付帯決議されているため，その対応として，広く意見を伺いたい旨の説明があった。

黒澤祐一評議員（東北）からは共済制度廃止もやむなしとの意見，新倉良一評議員(関東)，木俣評議員，鈴木雅夫評議員（東北）からは制度の見直しの意見が述べられた。また福﨑博生評議員（四国）からは現行の制度の疑問点について，西村亮介評議員（近畿）

西村亮介評議員（昭和47年卒・近畿）

広瀬　秀評議員（昭和47年卒・信越）

早速晴邦副会長

からは高齢の会員に対する共済制度の在り方について発言があった。広瀬　秀評議員（信越）からは地域，支部に持ち帰り協議したい旨の提案があった。

これを受けて中島常任理事より，協議で出た意見を参考にしながら，今後，総務厚生委員会に諮問し，その答申を踏まえて執行部案を取りまとめていく方針が示された。

早速晴邦副会長の閉会の辞で平成28年度評議員会は滞りなく閉幕し，会場を西棟１階のラウンジに移し懇親会が行われた。

註：評議員は各地域支部連合会単位で選出されるため，所属は地域支部連合会名としています。

評議員会挨拶

矢﨑秀昭会長

皆さまには，ご多忙の中，遠方よりご参加賜わり，誠にありがとうございます。

本年より，この評議員会の前の午前中に都道府県代表者会を開催しておりました。この都道府県代代表者会では主として各都道府県におきます諸問題について，各代表の方にご出席いただき検討をいたしました。本評議員会で昨年度の決算，本年度の事業の状況，さらに来年度の事業計画，来年度の予算等を中心に検討いただくことになっております。ご協議のほど，よろしくお願い申し上げます。

昨年開催されました東京歯科大学同窓会創立120周年記念会には，評議員の皆さま方のご協力により，800名に及ぶ会員・来賓の方にご参加賜わり，大変盛会となり，改めて御礼申し上げます。この記念会の記録と，東京歯科大学同窓会の長い歴史を刻みました記念誌は，８月に発行いたしました。広報委員方々はじめ多くの方々のご協力により，記念誌の内容や写真など大変好評でございます。しかしながら，この記念誌の発送に関しまして，印刷会社の手違いがございまして，封筒に発行元の同窓会の名前が記載されておりませんでした。そのために全国の皆さま方に大変不審な思いをさせてしまいましたことを，改めてお詫び申し上げます。

さいかち坂校舎に新入生も，既に５年生となり，水道橋病院あるいは千葉病院等に登院をして，張り切って臨床実習に励んでおられます。本年３月に完成いたしました西棟におきまして，臨床教育のさらなる充実が図られ，後程，大学より紹介がありますが，新たに短期大学歯科衛生学科が開校いたします。この短大につきましては，現在，推薦入学の学生の募集をしておりますので，ぜひ短大への受験生をご紹介いただきますようお願い申し上げます。

この西棟は，大変素晴らしくできて，後程，この西棟で懇親会等を行いますので，是非ご参加賜わり，さらに短大等も見学していただきたいと思います。しかしながらご存じのように，東京オリンピックあるいは災害復旧等で建築

費の高騰もございまして，現在，西棟の建設に対する財政状態は大変厳しくなっております。既に水道橋に大学が移転するということで，５億円を目標としまして，同窓の皆さま方から大学にご寄付をいただいてまいりました。

まず血脇記念ホールの建設に際しまして，1,700名余の方から３億1,400万円ほどの寄付をいただきまして，本当にありがとうございました。また新たに西棟の建設ということで，皆さま方に寄付をお願いしておりまして，現在300名余から5,700万円余が寄付されております。引き続き大学へのご支援，あと１億３千万いうことを井出学長からも言われております。ぜひ皆さま方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

本日，事前に配付いたしました総務厚生委員会の答申書にございますように，現在，同窓会にとりまして最大の課題は，やはり若手の会員が各支部に入ってくれない，同窓会あるいは歯科医師会離れを若手の先生方が起こしているということに対する対応です。それに対しまして，執行部としましては，学生を同窓会の準会員としまして，大学のご厚意で各教室等におきまして，学生に同窓会の意義，あるいは各支部での同窓会の活躍等の説明を行っております。さらに卒業後５年目までを新進会員として，また，卒業後６年目から10年目までに対しまして会費の減額等の総務厚生委員会からの答申もなされております。しかしながら，なかなか実効が上がっていないということもあり，今後とも評議員の皆さま方の協力を得まして，若手との連携，同窓会各支部への入会を進めていきたいと思っております。

また会員との連絡は，現在までファックスとかメールだけでしたけれども，今後は新たなネットワークシステム，あるいはSNSのLINE等を使った連絡網を構築する必要性を改めて感じております。

同窓会の共済制度については以前から種々議論されております。しかしながら，今のところまだ，はっきりした方策が出ておりません。本日の評議員会の協議題にも出してございますので，ぜひ皆さま方，共済制度を今後どのようにして行くのが良いかを，多くの評議員の皆さま方のご意見を受け賜わり，同窓会としての対応を考えていきたいと思っております。

後程懇親会もございます。皆さま方，ぜひご出席いただきまして，評議員同士，そして大学の先生方との懇親を深めていっていただきたいと思います。

本日はお忙しい中，本当にありがとうございます。よろしくお願い申し上げます。

水野嘉夫理事長

私が理事長に就任し，３年目を迎えました。この間の水道橋移転事業は，今のところ順調にいっており，西棟も完成し，現在の本館の工事をもって終了となります。それにつきましては，後ほど，学長から説明があると思います。

私の同窓会に対する気持ちは，同窓会創立120周年記念誌に書かせていただきました。

先日ふと，昨年同窓会創立120周年記念式典で配られました，新潟テレビ制作の血脇守之助先生のDVDをもう一度見てみました。血脇先生の偉大さを改めて感じたと同時に，血脇先生の人柄，包容力というものを非常に感じました。私は慶應義塾大学出身ですが，慶應義塾の福沢諭吉先生と同じような存在が，東京歯科大学においては血脇守之助先生ですし，また，血脇先生と福沢先生とは非常に関係が深いということで，私も東京歯科大学のために働かせていただくことを大変嬉しく思います。

慶應義塾大学医学部も，来年，創立100周年を迎えるにあたり，総工費約300億円で新棟を建てる計画がございます。慶應義塾は，寄付の文化が色濃い学校ですので，塾全体で100億円の寄付を集めることになりました。慶應の医学部卒業生は，東京歯科大学の卒業生と同じぐらいの人数かと思いますが，我々に与えられました寄付金額の目標は，30億円でした。残りの270億円は，塾並びに慶応病院が賄うということでした。こ

の５年間，同窓会を中心として集めてまいりました。私も３年前までは同窓会副会長でしたので，私自身も寄付をしましたし，寄付の文化について，身をもって感じてまいりました。今現在，集まった寄付金は，約16億円に近づこうとしているところです。これは並々ならぬ努力の賜物だと思っています。このような寄付集めは，慶應義塾創立125周年（1973年）の時もありました。現在となっては，旧館と称される病院を建てるため，当時，約25億円を集めたのです。それから比べると，簡単かと思っておりましたが，なかなか手強く，同窓会理事で募金委員会を設置し，朝から晩まで考えに考え抜き，手を尽くしました。それでもまだ，あと10億円足りない状況です。最後の最後まで諦めずにやろうと考えております。一番感じたことは，我々も同窓と言いながらも，母校から離れているということでした。寄付を集める時には，同窓生が母校とどれ程の関係を持つかということが，大きな課題となると思います。

この東京歯科大学においても，こうして移転ができましたことは，先生方のご理解・ご協力のお陰です。ここまでの120数年の伝統は，血脇守之助先生の建学の精神のもと，その門下で学んだ先生方のお力添えのお陰だと思っております。これからも是非とも，東京歯科大学のために，ご協力をいただきたくお願い申し上げます。

最後に，本日の評議員会が無事に終了しますことを祈念いたしまして，ご挨拶にかえさせていただきます。

井出吉信学長

評議員の皆さま，こんにちは。

日頃より大学をご支援いただきまして，誠にありがとうございます。後程時間をいただいて，大学の現況についてお話をさせていただきます。よろしくお願いいたします。（拍手）

東京歯科大学の現況報告

〈スライドを使用しての説明〉

本年６月から新しい人事となり，私は再度学長を務めさせていただくことになりました。副学長には一戸達也教授と橋本正次教授，大学院歯学研究科長は櫻井薫教授，水道橋病院長は矢島安朝教授，千葉病院長は一戸副学長が兼任，市川総合病院は西田次郎教授に就任していただいております。

東京歯科大学が水道橋への移転事業を開始してからちょうど５年目になりますが，来年３月をもって移転は完了します。ただいま病院内の改修を行っており，明日から病棟を２カ月ほど閉鎖して改修するところでございます。

千葉病院は研修生，学生の臨床教育に当たっており，教育機関として大変重要な役割を果たしております。スタッフの大半が水道橋に来ていて診療の予約が取り難い為，沢山の患者様に大変ご迷惑をおかけしております。千葉病院の収支は非常に難しく今後の課題になっております。そのため，千葉病院の入り口にファミリーマートと薬局を新設しました。また，職員駐車場であった約5,000坪の敷地をスーパーに貸して，賃貸収入を得ることといたしました。

市川総合病院では，臨床教育にも力を入れております。病院内に，静脈注射，採血，内視鏡検査，血圧測定等各種検査など実習を行えるスキルスラボを設置しました。ここでは登院生，研修医，看護師などが共に学び，同時にチーム医療の習得にも役立つカリキュラムを組んでいます。

水道橋病院，千葉病院，市川総合病院の３病院を有していることが東京歯科大学の大きな特徴であり，これをできるだけ発展させながら維持していきたいと考えているところでございます。

先程矢﨑会長からのご紹介にもありましたが，二次計画で西棟がこの３月に完成しました。１階にラウンジ，２階に保存科診療室，３階に中央技工室およびシミュレーション室，４階に手術室，５階に東京歯科大学短期大学歯科衛生学科の実習室となっております。

これは今年の新入生でございます。水道橋に移転してから，１年生から４年生において女子学生が半分以上超えています。教養科目

の女性教員である湖城　麗先生や歯科の臨床系講座で初めて女性教授となった歯科放射線学講座の後藤多津子先生に女子学生のいろいろな悩みを聞いていただいております。職員についても女性が非常に多いので，これからはさらに女性が働きやすい職場環境を整える必要があると考えております。

これは解剖慰霊祭の写真です。血脇記念ホールで行っておりまして，２年生全員が出席しております。

これは４年生の小児歯科実習風景ですが，同窓の先生方に実習，授業において，指導教員として積極的に参加していただいております。先生方には非常に丁寧に言葉遣い等の態度教育も含めて指導していただき，大変感謝しております。５年生で登院しますが，４月に登院して１週間ぐらいはただ立っているだけなのですが，何日か経ちますと，このように治療に参加できるようになって参ります。

西棟に新しく完成したオペ室では，映像システムも整備し画像の配信も非常にスムーズで，学生も見学しやすくなっています。

去年もお見せしましたが，このグラフは私が生まれた1947年頃の日本の人口の動態で，まさしく人口ピラミッドになっています。2030年，現在の学生が一番活躍するぐらいの時期になりますと，80歳以上の人口が非常に増えます。1950年には90歳以上がほとんどいないわけですが，2030年になりますと90歳以上が多くなる。患者様は何かしらの疾患を持っているということが十分考えられます。在校している学生の20年後を念頭に置いた教育を，東京歯科大学はいま力を入れてやっておりますが，このような意味から，３病院で臨床実習することが非常に有効だと考えております。

国家試験ですが，今年３月の結果は良かったのですが，来年については非常に苦労しているところでございます。しかし，次の結果もいいように，学生には頑張ってもらいたいと思っています。

これは平成29年度の推薦入試の風景でございます。今年は指定校・公募推薦共に，お蔭さまで受験生は去年よりわずかですが増えました。大学は受験生がいないと始まりませんので，評議員の先生方には是非とも受験生をご紹介いただければと思います。

平成29年４月に東京歯科大学短期大学歯科衛生学科が開学いたします。短期大学の学長に石井拓男法人主事が就任予定ですので，ご説明をさせていただければと思います。

○石井法人主事

このようなパンフレットが既に先生方のお手元に届いているかと思います。今スライドが出ておりますけれども，この後，14階に上がっていただき，ぜひ短期大学の施設を目で見ていただきたいと思います。西棟５階の総合実習室をご覧いただくとわかりますが，歯科関係者，教育関係者，雑誌社，機械メーカーなど，見学された方々はこのような衛生士教育機関は他にはないとどなたも絶賛されます。見学に来た受験生も，ここにぜひ入りたいと思うようです。

ところが，初めてゼロから水道橋に短期大学を作りましたので，受験生の募集に苦慮しているところです。先生方の親戚・縁者の方で衛生士を目指そうという方がおられましたら，ぜひ紹介いただきたいと思います。

ご存知の通り，現在歯科衛生士の求人は非常に多く出ており，歯科界では衛生士が足りないという声があるにも関わらず，それが高校生には届いていません。是非とも先生方のご尽力をお願いしたいと思います。

○井出学長

今，石井先生に説明していただきましたが，都内には沢山の歯科衛生士専門学校があります。他の学校に比べて授業料が高いわけでもなく，設備についても申し分のないことから，他の専門学校に比べ本学の短期大学の教育環境の方が良いのは間違いありません。ぜひとも受験生をご紹介いただきたいと思います。

決算についてですが，去年は18億円ぐらいの黒字が出ていました。昔と違って，現在の大学は授業料がほとんど黒字の要因を占めています。大学と市川総合病院で比べると，市川総合病院は収入がだいたい大学の３倍ありますが，収支差額で利益は大学の三分の一以下です。他の歯科大学は授業料を下げていますが，本学は授業料を下げていませんので，国家試験の合格率を維持すると共に，質の高い教育をこれからも行っていく必要があります。

最後にお話ししたいのは，臨床研修医の話です。卒業したら必ず

臨床研修を受けることが法律で決められております。臨床研修の施設には，単独型，管理型，協力型などがあります。大学に関して申し上げると，１年間在籍するのは単独型で，本学の施設で４カ月研修し，協力型施設で４カ月から８カ月研修するというのが複合型です。協力型の施設が水道橋病院だと73，千葉病院では170ぐらいあります。まずは同窓の先生方に協力型施設になっていただいて，研修医を育てていただきたい。それが歯科医師会が謳っている生涯教育一環の始めと考えますので，ご理解，ご協力をいただきたいと存じます。

私は学生には，必ず同窓会と歯科医師会に入るよう日頃からよく話しております。また，学生部長であり同窓会常任理事でもある佐藤　亨先生が同窓会と協力しながら同窓会に入るための施策を一生懸命行っております。今後とも大学へのご支援をよろしくお願いいたしまして，現況の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

平成27年秋の叙勲受章者

旭日小綬章	川越　文雄	昭和31年卒　群馬県支部
旭日双光章	酒井　雄学	昭和29年卒　渋谷支部
旭日双光章	北原　一幸	昭和45年卒　南信支部
瑞宝双光章	杉本　是孝	昭和24年卒　宮城県支部
瑞宝双光章	駒橋　典夫	昭和26年卒　秋田県支部 平成28年５月26日逝去
瑞宝双光章	楠崎　　渥	昭和33年卒　三重県支部
瑞宝双光章	前田　耕道	昭和38年卒　和歌山県支部

平成28年春の叙勲受章者

旭日小綬章	浅野　薫之	昭和40年卒　千葉県支部
旭日双光章	下島　計雄	昭和35年卒　南信支部
旭日双光章	斉藤　直身	昭和36年卒　群馬県支部
旭日双光章	横井　利之	昭和40年卒　静岡県支部
旭日双光章	沖　　光博	昭和40年卒　宮崎県支部
瑞宝小綬章	腰原　　好	昭和35年卒　千葉県　名誉会員
瑞宝双光章	佐藤　貞彦	昭和33年卒　練馬支部
瑞宝双光章	中川　武憲	昭和34年卒　静岡県支部
瑞宝双光章	中江千万紀	昭和39年卒　栃木県支部
瑞宝双光章	緒方　史朗	昭和39年卒　熊本県支部
瑞宝双光章	澁谷　國男	昭和43年卒　板橋支部

平成28年春の褒章受章者

藍綬褒章	沖　　義一	昭和51年卒　高知県支部

高齢者叙勲

瑞宝双光章	西村　秀祐	昭和25年卒　愛知県支部

註：平成28年秋の叙勲受章者はすでに公表されていますが，平成29年度評議員会での紹介となります。

表１　平成28年度評議員会で紹介された叙勲・褒章受章者（敬称略）

平成28年度都道府県代表者会報告

平成28年度東京歯科大学同窓会都道府県代表者会が，評議員会開催日の11月20日評議員会に先がけて午前10時より，東京歯科大学水道橋校舎本館13階第２講義室にて開催された。

本会議には，奈良県をのぞく全国46都道府県より，各都道府県を代表する会員及び執行部側から理事会メンバーが出席した。

中島信也総務担当常任理事の司会のもと，財部副会長の開会に始まり，矢﨑会長の挨拶があった。矢﨑会長は，挨拶の中でこの都道府県代表者会は，評議員会とは別に各支部ごとの会員の意見を聞き，今後の執行に役立てること。さらには各都道府県と本部の連携を強めていくために忌憚のない意見交換を行う場にしたいと述べた。会長挨拶の後，熊本県支部の河野支部長より，熊本地震に対する同窓よりの物心両面での支援に対し，感謝の言葉が述べられた。

その後出席者紹介に続き，本部報告として臼井専務理事並びに各所管を担当する常任理事から報告した。次いで各都道府県からの報告では，事前に送付いただいた報告に追加発言があり，内容が各都道府県共通の課題である支部未加入対策に関するものが中心であったため，そのまま協議１）の「支部未加入者対策」に移行し，各地域の代表者からの発言を中心に活発な意見交換が行われた。ここでは，各支部において行われている支部未加入の若手会員への対応が中心になったが，この問題については大学との会員情報に関わる連携が重要であり，今後大学，本部とも十分な連携をとって対応でき得るシステムの構築が望まれた。

協議２）では，「対外的に強い同窓会組織を目指して」として歯科医師会，歯科医師連盟，学校歯科医会等の関係団体における人材の推薦とポストの確保について，本部の考え方を提示し各都道府県の意見を求めた。

当日の協議における主な意見・承認事項

①支部未加入対策についての各県

中島信也常任理事

矢﨑秀昭会長

財部正治副会長

河野生司支部長（昭和56年卒）

臼井文規専務理事

の対策についての意見交換

- 若手会員への入会勧奨を進めるために，大学を離れる時点での会員の把握が出来ないか。
- 地域ごとに大学の県人会と連絡を取り，会への参加や援助を行うことにより，地域出身者を把握することが重要であり，これについては大学の理解と協力が不可欠。
- 歯学体などで各地を訪れる学生に対しアプローチすることにより，同窓会組織の良さをアピールできるのではないか。そのために開催情報の提供が必要。
- 本部で把握している会員データと各都道府県で把握できるデータとの照合が必要。
- 都道府県歯科医師会の入会時に，同窓の動向がわかるので都道府県歯からの情報提供が有効。

②全国的に強い同窓会組織をめざして

- 各県別では，地域の特異性があるので全国的に共通的な対応策は見いだせない。
- 全国組織である日本歯科医師会，日本歯科医師連盟，日本学校歯科医会等には東京歯科大学同窓がポストを得るべく活動していくことは重要であるという共通認識を得た。
- 次期日学歯会長選挙に立候補される，東京都江戸川支部川本強先生（昭和44年卒）の選挙支援活動を全国都道府県の協力を得て行っていくこととする。

12時過ぎまで時間いっぱいの活発な協議がなされた後，冨山副会長の閉会の辞をもって会を終了した。

川本　強先生（昭和44年卒）

冨山雅史副会長

理事会のうごき

第６回理事会

平成28年11月19日（土）午後２時30分
於　　特別会議室
出席　33名
議長　矢﨑会長

会 長 挨 拶

明日，都道府県代表者会および評議員会が開催される。朝からとなるが宜しくお願いする。都道府県代表者会の意義は，すべての都道府県から代表者に出てきていただき，色々議論しながら同窓会のことを考え，また直接本部や大学を見ていただくことにある。評議員会と都道府県代表者会とは，各々役割を異にしているのでご理解いただきたい。

評議員会では，来年度の予算案や，また今回は特に共済制度が協議題に上がっている。本日も役員各位で議論してそれぞれご意見を持ち，さらに明日の評議員会の席で改めて考えて頂きたい。

各支部に行くと，若手会員が入ってこないため，会員数が減少して財政的にも運営が難しくなってきていると言われる。本部としても支部に会員が入るように努力しているが，結果に結びつかないことがある。しかし，今後も努力は惜しまず継続していく。

先月120周年記念誌が手元に届いたと思うが，発送に関して印刷会社の手違いで問題が生じた。早々におわびの手紙を発送して，広報，専務が対応した。内容はすばらしく，同窓会のみならず歯科の歴史がよくわかるとの評判を得ている。準会員にも配付して東京歯科大学の伝統，先輩の偉業を伝えていければと考える。

黙　　祷

千葉県支部・山本裕祥氏はじめ17名のご逝去を悼み，謹んで哀悼の意を表した。「黙祷」

会務報告ならびに承認

１）平成28年10月18日から平成28年12月22日までの日程を報告。

２）各部報告

⑴　総務厚生部：①会費，共済負担金納入免除願いが１件提出され，受理した旨の報告。②逝去会員について規程により弔慰共済金を支給した旨の報告。③罹災報告が３件提出され，罹災共済金を支給する旨の報告。④平成28年秋の叙勲受章者について８件報告。⑤母校「水道橋校舎施設設備整備資金寄付金」申込み状況報告。⑥会務運営協議会報告。⑦ゴルフ大会委員会報告。⑧新進会員のつどい実行委員会報告。⑨女性会員活動推進委員会報告。

⑵　会計部：①支部・地域支部連合会学術講演会講師派遣交通費の支出について１件報告。

⑶　渉外部：①渉外委員会報告。

⑷　広報部：①広報委員会報告。②同窓会 HP アクセスレポート報告。

⑸　事業推進部：①社会保障制度研究委員会報告。②学術委員会報告。③ TDC アカデミア2016報告。④ TDC アカデミア2017報告。⑤二校会主催若手研修セミナー報告。

以上の会務報告について，全て承認。

各地域選出理事報告

東北・田島理事，関東・大野理事，東京・山口理事，中国・野間理事，九州・田部理事より報告。

協 議 事 項

１）ホームページ「執行部宛お問い合わせフォーム」投稿等の対応について協議，承認。

２）東日本大震災被災者に対する平成29年度会費・共済負担金免除の延長２件について協議，承認。

３）過年度を含む会費・共済負担金未納者への対応について協議，継続審議。

４）同窓会・会員間の連絡方法の見直しについて協議，継続審議。

５）共済制度の見直しについて協議，継続審議。

６）平成28年度都道府県代表者会について協議，承認。

７）平成28年度評議員会について協議，承認。

８）平成29年度「移動理事会」について協議，承認。詳細は会長・副会長に一任。

卒研リポート

TDC アカデミア 2016　医療教養セミナー
口腔保健オープン・フォーラム
『予防の極意』
～診断，エビデンス，予防システムの視点から～

平成28年11月27日（日）午後１時より４時まで，生憎の小雨模様のなか40名の出席者を迎えて上記フォーラムが開催されました。

近年の口腔の疾病構造の変化により，歯科医療の役割も大きく変化しています。そして，歯の喪失を防止し，健康増進に繋げる予防管理の重要性がさらに高まっています。

予防管理の核となる，診断，エビデンス，予防システムのそれぞれの視点から３名の講師に話題提供をしていただき，最後に参加者の皆さんでディスカッションが行われました。

一人目はＳ64年卒の高柳篤史先生より「エビデンスの視点から」という演題で講演がありました。

高柳篤史先生

フッ化物配合歯磨剤のフッ化物濃度と予防効果について，セルフケアとプロフェッショナルケア，歯周疾患とPMTC，行動変容のきっかけなどエビデンスを良く知って一人ひとりの患者さんに合った効率的で効果的な予防法を提案していきましょう，と話されました。

そして，歯に良いことであっても習慣化しないと意味がない，効果の実感がないと続けられないとのことでした。

講演二人目はＳ58年卒杉山精一先生より「予防型診断システムと診療記録の活用」でした。

杉山精一先生

システムの作り方，実際のスタッフの仕事内容，得られた診療記録からどのように活用しているかという内容です。

先ずは臨床データの記録として全患者を登録する，記録項目は口腔内写真，Ｐ検査，DMFT，歯周病進行度，抜歯，充填，ＰとＣリスク，メンテナンス履歴，口腔衛生用品など，ファイルメーカーを使用してサーバーとクライアントで運用するとのことでした。

そしてう蝕と歯周病の病因論に基づいた診療体制を作り，データベースから自院の成果を把握できるようにするのが重要とのことでした。

最後はＳ49年卒三上直一郎先生より「口腔内からの情報を読み取る」という演題でした。

三上直一郎先生

三上先生は予防に根ざした歯科医療に取り組む，生活習慣病を考える，時間軸の流れの中で診断していく，出しゃばらずにちょっとお手伝いの気持ちでいる，など話されました。

３名の講演が終わり参加者とのディスカッションではかかりつけ医やかかりつけ衛生士の重要性，健康維持の秘訣は自分をよく知ってもらう，型にはめずに取り組むことが大切である，など予防についてのちょっとしたヒントを多数聞くことができました。

（取材・広報部　福井雅之）

準会員のページ

平成29年 武道始め開催

平成29年１月11日，武道始めが行われました。昨年は水道橋校舎新館で行われましたが，本年は昨年完成した水道橋校舎本館西棟での開催となりました。新しく美しい本館西棟のラウンジスペースに胴着を身に付けた学生達が集まり，今年一年の躍進を祈願し，本年も文武両道の学生生活をスタートさせました。

少林寺拳法部

弓道部

空手道部

支部のうごき

九州地域支部連合会

平成28年度総会・懇親会

平成28年10月22日(土)，九州地域支部連合会総会・懇親会を今年度は福岡県支部が担当で，福岡市のホテルニューオータニ博多で開催しました。

来賓として同窓会本部より矢﨑秀昭同窓会長，髙橋潤一郎常任理事，田部和彦九州地区理事，また母校より学長代理で大学院歯学研究科長の櫻井　薫先生，歯科衛生士専門学校長の井上　孝先生に出席していただきました。

総会では連合会長の挨拶のあと，矢﨑会長から同窓会120周年記念事業へのお礼や，母校水道橋本館西棟建設への協力依頼等のご挨拶を頂き，櫻井先生からは大学の現況報告や入試の概要，国家試験の結果等についてお話をしていただきました。又，井上先生からの挨拶では近い将来IPS細胞の歯科応用により，歯科界からノーベル賞受賞者を出すことも夢ではない旨のお話しに心を踊らせました。最後に髙橋常任理事より同窓会の会務報告等を受け，総会を終了致しました。

この日は日本歯科医学会総会が九州では初めて福岡で開催され，九州歯科医学会総会も併催されていたため，全国から多くの歯科関係者が来福，懇親会にも九州各県はもちろん四国からも多くの同窓の方々に出席していただきました。

懇親会は田部地区理事の乾杯のご発声で始まりましたが，次第に各テーブルでは学生時代の九州人会を思い出させるように，賑やかに大いに盛り上っていました。

最後に河野熊本県支部長からの「熊本地震」へのお見舞に対してのお礼や，神崎大分県副支部長から次年度九地連総会の案内を頂いた後，校歌斉唱で閉会となりました。

29年の九地連総会・懇親会は大分県担当で，10月14日（土）に開催されます。

（昭和53年卒・永江健一　記）

近畿地域支部連合会

第66回近畿連合同窓会

平成28年11月23日（水・祝）12時30分より大阪府支部の担当でホテルグランヴィア大阪にて第66回近畿連合同窓会が開催されました。大阪府支部専務理事今村隆一先生の司会のもと，大阪府副支部長楢本浩二先生の開会の辞で総会が始まりました。校歌斉唱，黙祷に続き，大阪府支部長の稲野順治先生が大阪府支部の歴史を交えて挨拶され，その後来賓としてご参加いただいた矢﨑秀昭同窓会会長，井出吉信学長，福本恵吾常任理事のご紹介並びに挨拶がありました。矢﨑会長からは熊本地震被災同窓会員への支援の状況報告と昨年開催された創立120周年記念式典の様子，並びに同窓会の現況報告をしていただきました。井出学長からは大学の人事や学生数，水道橋校舎での授業の様子，事業活動等をお話ししていただき，現在の大学の状況を詳しく知ることができました。その後近畿連合同窓会の次期当番県である兵庫県の西村亮介支部長より挨拶があり，大阪府副支部長若松宏幸先生の閉会の辞で総会は無事終了しました。

続いて14時より昭和54年卒尾松素樹先生による講演会「私が学んだ東京歯科大学補綴学教室の総義歯臨床」が開かれました。補綴学教室の歴史を説明された後，咬合状態の確認方法，人工歯排列・削合，調整方法等総義歯を作成するにおいて臨床上大変役に立つお話をしていただきました。尾松先生が実際に診療された症例の初診から結果までの流れと共に説明していただいたので，大変理解し易かったです。経験の比較的浅い若い先生方も興味深い様子で真剣に聴いておられました。

講演会が終わるとホテルの写真室にて集合写真を撮影し，その後16時より懇親会が開かれました。コース料理をいただき同窓生同士和気藹々とした雰囲気の中，余興としてプロの歌手によるミニコンサートもあり，大変盛り上がりました。楽しい時間はあっという間に過ぎ，大阪府支部監事の田丸秀夫先生の閉宴の挨拶にて散会となりました。また２年後，兵庫県で多くの先生方とお会いできるのを楽しみにしています。

（大阪府支部広報
平成15年卒・髙木祥広　記）

神奈川県支部連合同窓会

平成28年度　定時評議員会・研修会ならびに会員懇親会開催

平成28年12月４日（日）午後１時30分よりローズホテル横浜において表記の会が開催された。

評議員会は西山　潔会長の挨拶に続き，冨山雅史本部同窓会副会長，井出吉信学長，大山萬夫前同窓会会長・島村　大後援会会長にご挨拶いただいた。

その後，議長として関　暁子評議員会会長が，副議長として新倉良一評議員会副会長が登壇され，冒頭前回評議員会以降逝去された７名の会員に対して黙祷が捧げられた。その後各担当常務理事より諸報告が行われ，慎重審議ののち上程された全ての議案は賛成多数で可決承認された。特に，第４号議案の「本部における新進会員の新設と準会員の取り扱いに関する件について」に関しては，中島信也専務理事より「本会では会員種別の新設と本学学生を準会員として歓迎することは意義あるものと結論づけ，一般会員のうち本学卒業５年までの期間は新進会員とし，本会会費を減額する。準会員は本学在学中の学生（本学の神奈川県人会に所属するもの）とし，会費，共済負担金はないものとする」と丁寧な説明があった。

研修会は，母校教授鳥山佳則先生をお迎えして「地域包括ケアにおける歯科医師の役割～歯科医療需要の動向から～」という演題でご講演いただいた。

続いて山下正雄相談役の乾杯のご発声で開宴した懇親会では，島村　大参議院議員の挨拶や喜寿を迎えられた中村佳晃会員の表彰，100歳を迎えられた平　光雄会員の表彰，新入会員の永野俊介君の紹介などが行われた。

また県内在住の母校の学生さん19名が井出学長より紹介され，「私は日本一の歯科医師になって見せる」などの力強い抱負を語るものもあり，会場を沸かせた。

そして「これだけよくしてもらったのだから，皆さん卒業後は同窓会に入会して活躍するように」と井出学長から諭される場面もあった。

さらに会の途中，ビッグサプライズとして，菅　義偉官房長官が来会され，島村議員の国会での活躍ぶりを紹介され，今後も同議員に更なる支援をお願いされた。

宴酣となったところで恒例の校歌を斉唱してお開きとなった。

（昭和63年卒・渡邊宇一　記）

写真が同窓会ホームページ≪http : //www. tdc-alumni. jp≫に掲載されています。

栃木県支部

平成28年度定時総会

平成28年12月４日（日）宇都宮市のホテルニューイタヤに於いて，平成28年度の東京歯科大学同窓会栃木県支部定時総会，記念講演および懇親会が行われました。

総会は簗瀬　昇常任幹事の司会により進められ，議事に先駆け今年度亡くなられた会員の先生に向けて黙祷を行いました。支部長 矢島俊助先生の挨拶，来賓の東京歯科大学同窓会副会長 澁谷國男先生，東京歯科大学副学長 橋本正次先生よりご祝辞をいただき，同窓会の現状や母校の様子をお話いただきました。

議長 小滝正人先生の進行のもと，議事も粛々と進められました。顕彰式では，瑞宝双光章を叙勲されました中江千万紀先生に賞状，また長年支部長を勤めていただいた菊地善郎先生へ感謝状がおくられました。

続いて行われた記念講演では『水道橋再考』という演題にて茨城県筑西市開業の一木　勉先生（昭50卒）によりご講演いただきました。「かけら」コレクターとして一千棟を超える建物の最後に立ち会われてきた先生には，様々な資料をお持ちいただき，高山紀齋先生，血脇守之助先生や東京歯科大学・旧水道橋校舎についての貴重な話や，旧水道橋校舎を設計した森山松之助氏の話などを聞かせていただきました。「校歌は永遠に歌い継がれていきますが，建物は壊されてしまった。しかし旧校舎に込められた精神，考えたこと，訴えていたことは語り継いでいかなくてはいけないと思う。」と言葉で締め括られていました。先生のかけらコレクションは貴重な物が多く，様々展示会に出品されています。機会があれば，先生のコレクションの実物のかけらを通して歴史を感じてみたいと思いました。

その後部屋を移し，牟田具城常任幹事の司会の元懇親会が行われました。来賓の栃木県歯科医師会会長 宮下　均先生，記念講演の講師 一木　努先生よりご祝辞をいただきました。落合雅雄先生の乾杯の音頭で宴は始まりました。和やかな雰囲気の中，交流を深めることができました。

最後に恒例の平成ゴスペロール隊先導による東京歯科大学校歌斉唱。一木先生のご講演後でもあり，校歌に込められた先輩たちの精神が受け継がれている重みを感じながらのお開きとなりました。

（平成３年卒・柏瀬昌史：写真
昭和63年卒・鈴木恵実：記）

千葉県支部

平成28年12月４日(日)，京成ホテルミラマーレにおいて定時総会が開催されました。千葉県支部は本年新入会員，蛭田慎一（H18年卒）・杉山陽子（H14年卒）・山倉大紀（S57年卒）・竹島あゆみ（H12年卒）・嶋田　健（H11年卒）・松村栄治（H９年卒）・山本　孝（H17年卒）の７名が加わり443名という大きな組織となっており，当日も70名を超える先生方に参加いただき活気のあるものとなりました。総会に先立ち四谷英雄先生（東京歯科大学社会歯科学講座客員准教授）による社保講習会，続いて学術講演会として末石倫大弁護士による「患者の要求への適切な対応」と題した講演がございました。

総会は定刻の午後４時45分より開催され，高原正明支部長挨拶，大学より来賓としておいでいただいた水野嘉夫理事長，大学本部同窓会より臼井文規専務理事，市川総合病院歯科口腔外科より野村武史教授，そして最後に千葉県選出の白須賀貴樹衆議院議員（平成12年卒）よりご挨拶をいただきました。

議長・副議長に選出された鳩貝尚志先生・林　正弘先生のもと，会務報告・新入会員紹介・平成27年度収支決算及び平成29年度事業計画・収支予算に関する議事も全会員の承認のもと定時総会を終わりました。

続いて開催された懇親会では本年，旭日小綬章の名誉に輝きました浅野薫之先生（昭和40年卒）への記念品贈呈が行われました。乾杯のご発声は柳川　昭先生にしていただき，お楽しみの宴が始まりました。１時間半程度の懇親会でしたが来賓としておいでいただいた先生方も自席に留まるだけでなく各テーブルを回って下さり，大変和やかな良い宴になったと思います。最後に全員で校歌を斉唱して閉会となりました。

（昭和55年卒・野田彰久 記）

横浜鶴見支部

12月３日（土）午後６時より，鶴見中央の老舗中華レストラン「クーリン」において10名参加のもと鶴見東歯会忘年会が賑やかに開催された。

鶴見東歯会は横浜鶴見支部の会員とその主旨に賛同した他大学の同窓と共にいつも和気藹々と活動をしている。

定刻となり，はじめに佐藤秀夫会長が「何と言っても平　光雄先生の100歳のお誕生日を笑顔いっぱい祝福することが出来，またその翌週には鶴見歯科医師会創立100周年記念祝賀会では見事な100歳の乾杯。お祝いづくめの年となった。」と挨拶。大きな拍手の中でキリンビール横浜工場限定醸造「横浜づくり」がそれぞれのグラスに注がれ乾杯の準備万端。森田正純先生が声高らかに乾杯の発声をし，忘年会が始まった。このビール「横浜づくり」はアルコール６％とちょっと高め。なんと５種類のホップが使われ，強い個性が出そうなのに甘くフルーティーな香りでなんとも呑みやすい。まさにわれわれ鶴見東歯会を象徴したような味わい深いビールで，鶴見で老舗のやさしい味付けの本格中華料理にもピッタリ。会話も弾み大いに盛り上がった。

紹興酒も入り，ほろ酔いとなったところで会員の喜寿のお祝いも行われた。今年喜寿を迎えた先生は大食漢で有名。そこでお祝い品は「花より団子」ということで鶴見銘菓「よねまんじゅう詰め合わせ」の後で花束をお店の美人な店員さんからそれぞれ贈呈。主役はご満悦で「お祝いして下さってとてもうれしい。ここ鶴見で開業して半世紀になりますが，鶴見東歯会は本当に思い出がいっぱい。これからもよろしく」と謝辞を述べられた。

宴もたけなわであったが，最後に吉田礎久先生の閉会の辞を以って中締めとなった。

（平成９年卒・宇佐美貴弘 記）

横浜南部支部

平成28年度総会・懇親会開催

平成28年12月10日（土）18時より横浜市港南区上大岡の京急百貨店のバンケットルーム「リヴァージュ」において平成28年度定時総会ならびに忘年会が開催された。

総会は浅川　仁専務理事の司会で開会され，鈴木信治支部長の挨拶のあと，ご来賓の鶴岡裕亮神奈川県支部連合同窓会副会長より連合同窓会の現況と島村　大参議院議員の政務活動等の報告を兼ねたご挨拶をいただいた。

引き続き会員現況報告ならびに会務報告を浅川専務理事が，厚生・学術報告を田中五郎理事が，会計現況報告を甲田正治理事が行った。

議案に移り，平成28年度各種報告が滞りなく満場一致で可決承認された。

総会後，当支部恒例のミニ講演会が行われた。今回は東京歯科大学名誉教授薬師寺　仁先生にお願いし，「中国歯科事情」と題し，中国の歯科教育の現状と歯科治療の現状をお話しいただいた。現在，１年の半分を中国で過ごされて，中国の複数の大学で教授，名誉教授として実際に教鞭をとられていらしゃる薬師寺先生の講演は，歯科大学の教育システムだけでなく，中国国内の現状や，学生の生活，また患者さん事情等々を広く深くお話しいただき，日本との違いや，学ぶべき点など日ごろ触れることのできない情報が満載で，とても興味深い講演となった。今回だけでなく，ぜひこの続編をというリクエストも出た。

懇親会は山下正雄相談役の乾杯のご発声で開始された。今回はバンケットルームでの開催のため，食事は，京急百貨店のレストランならどこでも選択できるシステム，横浜らしく中華料理を選択し，料理を堪能した。また食事中浜野文夫顧問よりご自身の著書「浜文　味の旅」の第十巻が上梓されるお知らせがあり，そのお話も盛り上がりながら会員それぞれ懇親を深めたところでちょうど時間となり，山下　誠副支部長の閉会の辞でお開きとなった。

（昭和63年卒・田中五郎 記）

神奈川西湘支部

神奈川西湘支部は平塚，大磯，二宮，小田原，足柄エリアの会員で構成される。箱根駅伝のコースとしてもお馴染みの海山の自然に恵まれた温暖な地域で，母校校歌を作詞した北原白秋はじめ多くの政財界人や文人墨客がその風光を愛したことでも知られる。

平成28年12月10日（土），グランドホテル神奈中 平塚において，支部の総会・講演会・懇親会が開催された。

馬上富美男支部長（昭和48年卒）の挨拶に始まり，平成28年7月に逝去された宮尾尚文先生（昭和27年卒）を偲んで黙祷が捧げられた。

議事は河野孝栄議長（昭和60年卒）によって円滑に進行し，過年度決算や次年度の計画，予算等の議案は滞りなく可決承認された。

続いて，母校の福田謙一教授（口腔健康科学講座/障害者歯科・口腔顔面痛研究室）により「歯科における多様化する主訴への対応 患者急変時の対応」の演題で学術講演会が開催された。大学の現状やご専門分野の最新の知見等を多岐にわたってご説明いただいた。金子　亮副支部長（昭和62年卒）が謝辞を述べ，懇親会場へと移動。

懇親会では先ごろ文部科学大臣表彰の栄に浴された山田　貢先生（昭和34年卒），米寿を迎えられた天野聖造先生（昭和26年卒），古希を迎えられた富田汪助先生（昭和46年卒）と古井　瞭先生（昭和48年卒）にお祝いが贈呈された。

その後は，世代を超えた歓談が広がり深まる中，時は瞬く間に過ぎて恒例の校歌斉唱タイムとなった。来賓として迎えたはずの西山潔神奈川県支部連合同窓会長（昭和57年卒）が自ら音頭を取ってくださった校歌の大合唱（大絶叫）により，空調以外は無風のはずのホテルの一室に校旗を翻らさんとばかりの一陣の風が吹いたかのようであった。楽しかった師走の宴も，秋山達郎副支部長（昭和59年卒）による挨拶で名残惜しくも閉会となった。

（昭和59年卒・佐々木明彦 記）

神奈川相北支部

平成28年度総会

平成28年11月12日(土)，ラポール千寿閣町田にて相北支部総会が開催された。今回は，講演会の講師として，県歯医療保険委員会委員長の村岡輝雄先生（昭和54年卒）をお迎えした。総会は，関戸幹夫支部長の挨拶に始まり議長には髙橋捷治先生が選出された。その後，庶務報告が菅谷公一理事より，会計報告が小島正裕理事より，監査報告が新倉良一理事よりなされ，賛成多数で承認された。

来賓挨拶では，西山　潔神奈川県支部連合同窓会会長から，新執行部の抱負，本部ならびに連合における今年の出来事等の話があった。講演会は“保険請求，ためになるお話”と題して村岡講師より日常臨床における保険請求についての疑問点やわかりにくい点の説明があり，短い時間の中で密度の濃い，本当にためになったなあという思いの講演であった。懇親会は，元支部長で先日90才になった渋谷利雄先生の乾杯で始まり，おいしい食事とお酒を満喫して楽しいひとときを過した。

（昭和56年卒・渋谷浩一　記）

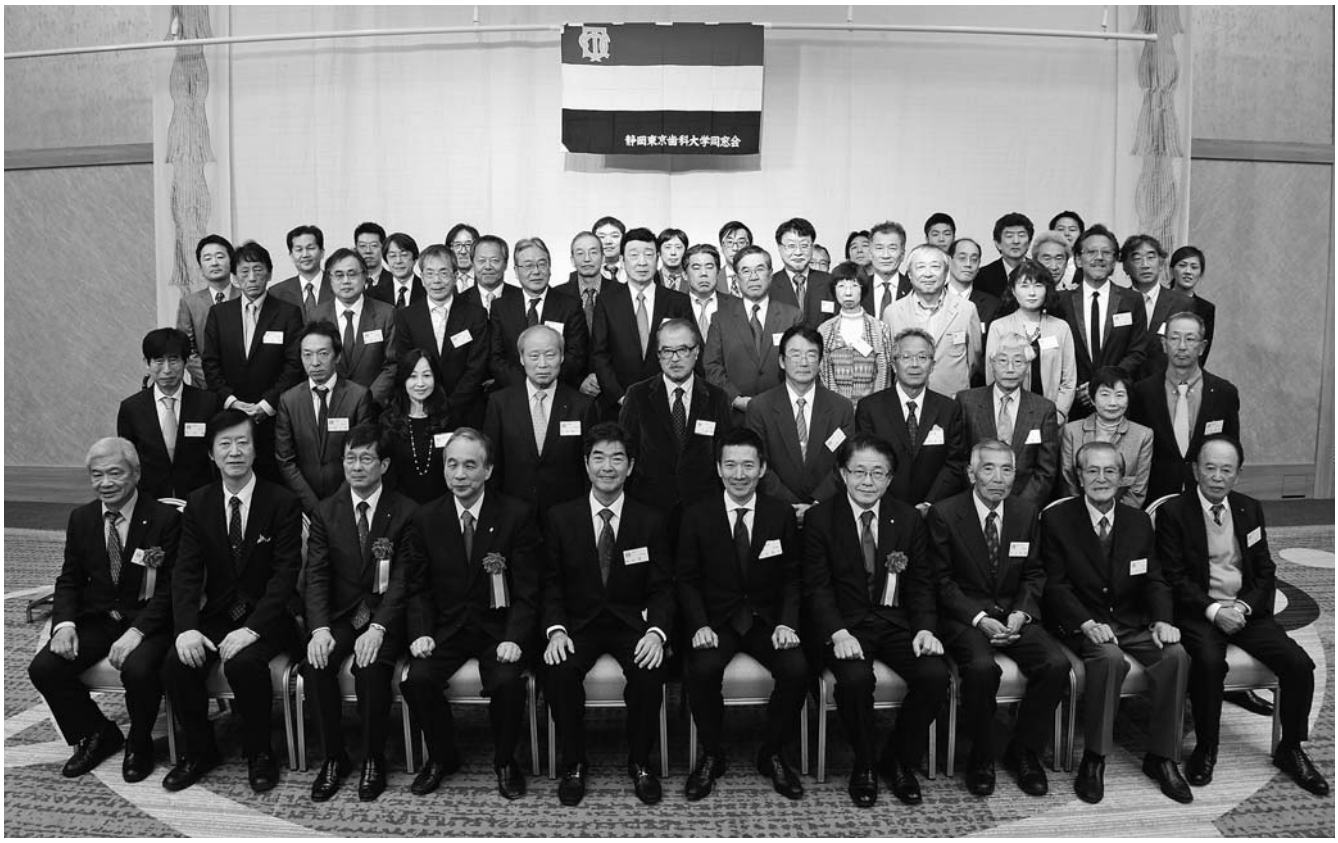
静 岡 県 支 部

平成28年11月27日（日）に同窓会静岡県支部定時総会がホテルアソシア静岡で開催されました。来賓に井出吉信学長，財部正治同窓会副会長，柳川忠廣静岡県歯科医師会会長，松下　茂日本歯科医師会代議員長，小澤照雄静岡県歯科医師会副会長を迎え総会が行われ，報告事項，協議事項を行い，続いて井出学長による新しい校舎の建設，東京歯科大学短期大学歯科衛生学科について等大学の現状についての説明がありました。

続いて記念公演として，昭和60年卒業の静岡県駿東郡清水町で開業されている，白鳥清人先生による「今，インプラント治療は？」とのタイトルで記念講演を行っていただきました。内容は白鳥先生が，開業し，インプラント治療を臨床応用してきた経過とこれからのインプラント治療についての方向を，より安全で，より低侵襲に，長期的な安定に，とのはなしでした。

講演後場所を移して懇親会を行い，和気藹々と会話が弾み，最後は荻原先生の指揮のもと校歌を全員で斉唱し，１本締めで終了しました。

（昭和57年卒・辻　吉純 記）



愛知県支部

平成28年度総会，記念講演会ならびに懇親会

平成28年12月４日（日）名鉄グランドホテルにて平成28年度東京歯科大学愛知県同窓会総会，記念講演会ならびに懇親会が盛大に開催された。

総会では来賓として副学長の一戸達也先生，同窓会本部より副会長の早速晴邦先生にご臨席戴いた。始めに成瀬　健会長の挨拶では，同窓会120周年記念誌の内容より，同窓会設立の時の目的は歯科医学の情報の交換，会員の親睦，歯科医師としての品格を高めるという三つであり，さらにこれからの歯科医師に求められることは「先進性」,「グローバル化への対応」,「リベラルアーツ」の三つを身に着ける事，そういう歯科医師になれるよう同窓会で学んでほしいと書かれてあったことについて話され，愛知県同窓会でも記念誌の発刊に向け，伝統ある東京歯科大学同窓会の過去から未来へ繋ぐという意気込みを話された。来賓からの報告および総会はとどこおりなく行なわれ，その後，高齢者叙勲・瑞宝双光章を受章された昭和25年卒業の西村秀祐先生（豊橋市）と，文部科学大臣賞を受賞された昭和44年卒業の夫馬眞也先生（江南市），昭和46年卒業の山田　有先生（南区）へのお祝いがあり，橋本専務より次年度から入会される平成５年卒業今泉千浪先生が紹介された。

記念講演会は，「あなたに逢えてよかった」という演題で名古屋中部地区ではテレビ・ラジオでおなじみのパーソナリティーで，書道家でもある矢野きよ実様をお迎えした。大須の洋服屋で生まれ，港区で育ち，子供の時は段ボールの中で遊び，ばーちゃん子で育った。そのばーちゃんからは「前に生まれた人，後に生まれた人がいて，逆さするな（先に死ぬな）」,「戦争や殺し合いをする，そんなバカなことは認めるでない。」等という言葉で人間の生と死について特別な思いを持って育てられた。その育ちからの想いと書道家であることを生かし，現在は東日本大震災の震災場所へ出向き，ボランティア活動を行っている。人々の想いを書にすることで，言葉を発することに怯えてしまっている人々とコミニケーションを取ることができ，心から通じ合えるようになり，人々の心の支えとなる活動しているという。「生きている，生きて生きたい君のために」「無敵」「想」「忘れない」等々，震災によって心の傷を負った方々の思いを書にすることで，多くの人々にメッセージを伝えている。

今回，私達も直接その書を何枚も何枚も見せていただき，被災地の人々の思い，叫びが心に直接響き自然と涙してしまった。これほどまでに感動的で人の心を動かす講演を東京歯科大学同窓会で聞けたことは，これからの歯科医師に求められる同窓会として，過去から未来へと継承していく目的に通づるものがあるように感じた。

最後に懇親会が同会場にて行われ，来賓として愛知県歯科医師会会長の渡邉正臣会長にご出席戴いた。93歳になられた橋本京一先生の乾杯で始まり，最後は小関健司理事の指揮の下，平成卒の会員が壇上に上がり，全員で校歌斉唱にて閉会となった。

（平成９年卒・井上敬介 記）

愛 媛 県 支 部

平成28年度総会・講演会・懇親会

12月３日（土）15：00より松山全日空ホテル４Ｆ「ダイヤモンドボールルーム」にて標記会が開かれました。関谷　栄専務理事の司会の下，山本昌司副会長の開会宣言に引き続き支部同窓会行事のスライドショーをバックに校歌斉唱を行いました。物故会員黙祷の後，松木建二会長の挨拶があり，来賓の本会常任理事の髙橋潤一先生より本部同窓会会務報告，本校歯科保存学講座教授の古澤成博先生より大学近況報告がありました。引き続き愛媛県支部報告，議事に入り指名された宮部英明議長の下，すべて原案通り可決しました。最後に新入会員である新田和敏先生より自己紹介があり，二宮　隆副会長の閉会のあいさつで総会は終了となりました。

短い休憩の後，講演会の始まりです。本日の講演は東京歯科大学歯科保存学講座主任教授古澤成博先生に「難治性根尖性歯周炎の原因とその対処法」という演題でお話し頂きました。ついつい日常診療においては忙しさにかまけてとか，ルーチンワーク化することによって，基本的治療の根本の緩んでるところがあるということを見直すいい機会になる講演でした。明日からやれることも沢山ありましたので，日常診療に変えたいと思います。

そのあと懇親会は新たに県歯会長，松本歯大校友会愛媛県支部長，奥羽大同窓会愛媛県支部会長，在校生保護者の方々を来賓に迎え，久保田　敦先生の司会進行で行われました。恒例のビンゴゲーム，余興などで盛り上がり，ビンゴゲームで最も高価な賞・東歯賞（14位）のディズニーランドペアチケットは兵藤正絹帛先生が獲得されました。その後散会の後も２次会３次会と夜遅くまで飲みあかしていたようです。

翌日の友好同窓ゴルフコンペは，冷たい雨の中奥道後ゴルフクラブで行われ，午後から雨が強くなる中，３ホールを残して中止となり，前半ハーフの成績で争われ，最年長の佐藤　潔先生が最悪のコンディションの中，IN48で優勝されました。寒い中のゴルフ参加本当にお疲れ様でした。

（平成９年卒・矢野慎二 記）

クラス会だより

クラス会開催日程

十　期　会（昭和37年卒）	と　き	平成29年10月26日（木）
	ところ	神奈川県湘南国際村センター
十二期　会（昭和39年卒）	と　き	平成29年６月１日（木）～６月３日（土）
	ところ	ホテル日航新潟

踏　志　会　　昭和41年卒

卒後51回目の総会・懇親会を今年度は，静岡県伊豆長岡温泉「小川家」で行った。小さな旅館を貸切にした。今回は38名に留まりうち同伴の夫人は９名だった。午後２時過ぎ小川家の送迎バスで21名の方が乗車し旅館で受付を済ませ，昨年世界遺産に登録された伊豆韮山反射炉を見学した。ガイドも付き，１時間程の説明を受け旅館に戻った。６時より総会が始まり上竹会長の挨拶に続き物故会員42名に黙祷を捧げ，事業報告，会

計報告後懇親会に入る。小さな旅館だが全館貸切で行いカラオケ等で盛り上がり親睦を深めた。又，館内で二次会も行い12時近くまで楽しんだ。美味しい料理が沢山出され満足した。入浴も何回もされたようだ。翌日は早めに帰られる方の為，朝食の時間を合わせた。

旅館前で朝市が開かれ，多くの方が買い物をされ10時の送迎バスで三島駅まで行き解散した。

（幹事　土屋善博 記）

飛　翔　会

昭和46年卒

今年度クラス会は広島でと言う事で，安芸の宮島 秋の宮島でモミジの盛りの11月23日行われました。

皆さん広島から？電車で宮島口へそれからフェリーで鳥居を見ながら宮島へ。宿泊は宮島の海岸沿いのホテルみや離宮，部屋からも綺麗に海が見えました。

早めに来られた方は平家の清盛が造営した朱色が映える厳島神社を拝観。世界遺産になってからずいぶん外国人が多くなっていました。

大鳥居もまじかに見れました。もみじ谷を回遊，ロープウェーで弥山に登られた方も。晩秋の紅葉は綺麗でした。鹿も可愛くて写真を皆さん撮られたようです。

参加者は夫婦で来られた方５組10名で一人の人14名合計24名でした。

懇親会は総会の後昔を懐かしんで盛況でした。２次会も21名参加でカラオケも!!

次の日は朝食の後，三々五々島内観光をしたり，すぐ広島に行かれたり。世界遺産コース（宮島，原爆ドーム間の快速艇）も就航しており，宮島の船着き場から直接原爆ドームの前の川の船着き場に行けました。錦帯橋の岩国コース，呉の下蒲刈島の奥の御手洗のとびしまコース，尾道から福山，鞆コース…等々皆さんそれぞれに楽しまれた様です。

今回は広島と言う事で福原，平地がお世話を致しました。出欠の葉書を見ますと結構体調不良の方も居られ，仕事もリタイヤされている方もおられました。私も昨年９月に体調不良ではありませんが70歳をきりに閉院いたしました。

また全国各地で開催されれば良いですね。来年は東京を予定されている様です。　（平地茂雄 記）

飛翔会　参加者名簿

1	岩城　　博	13	角田　初枝
2	岩本　正晃	14	角田　正健
3	梅津　正喜	15	富樫　雅明
4	岡本　圭三	16	福原　清行
5	小池平一郎	17	松島　秋良
6	小池　瑞穂	18	松田竹比虎
7	佐瀬　俊之	19	水戸　律夫
8	佐瀬　育子	20	水戸マスミ
9	佐藤　信之	21	宮島　正義
10	四條　誠一	22	宮島咲美子
11	鈴木　義博	23	山田　　有
12	田中　和夫	24	平地　茂雄

写真が同窓会ホームページ≪http : // www. tdc-alumni. jp≫に掲載されています。

彗　星　会　　昭和61年卒

91期生『彗星会』30周年を祝う

11月12日（土）ご来賓に伊藤彰人先生，髙野伸夫先生，田中丸治宣先生をお招きして，東京九段下のホテル・グランドパレス３階「白樺の間」で18時より記念クラス会を開催。

佐藤隆仁君開会の辞，事務局から彗星会現況報告，黙祷の後，髙橋裕幸彗星会代表挨拶に続き，お忙しい中駆けつけて下さった恩師の先生方にご挨拶を頂戴し昔と変わらぬ温かいエールをおくっていただきました。体育会代表・宮田右京君の乾杯の発声で厳かに始まった会場が和やかな笑顔あふれる祝宴に変わり，唯一の大学教員・西井　康君の母校現況報告で大いなる変貌を遂げた母校に驚嘆，準備委員会に２度も富山県から日帰りで参加しFacebookで仲間に広報を発信し続けてくれた山田雅敏君の彗星会会務報告と本会会計の残預金運用方法の提案があり決定。南代表で城井かおりさんと北代表で久米田俊次君が深い味のあるスピーチで会場を沸かせてくれ，４年ぶりを埋めるように大いに旧交を温め合いました。中締めの鶴岡裕亮君がサプライズ・ゲストとして１学年上の島村　大参議院議員を紹介，ご多忙中を永田町からのご参加で国政報告，会場がさらに盛り上がる中で73名の集合写真撮影後に２次会場の23階ラウンジへ移動，芸能界代表として現役活躍中の常木哲哉君，スポーツ界代表としてトライアスロンで優勝したばかりの寺田香織さんが臨場感あふれる実話で魅了してくれ，また絶望的な大病から奇跡の復活をとげた吉村浩一君がトリのスピーチの後，23時に杉之内俊郎君閉会の辞で…あれから30年のあの時に皆で泊まった会場は終宴しましたが，朝４時30分まで３次会以降が続いたとか，当日ホテルに宿泊したメンバーは朝食で後会をしたとか楽しい知らせがあり彗星会の絆の強さを再認した次第です。当日のアルバムをFacebookで公開中，次回は新潟にて開催予定。See you again !!

（小川　浩 記）

新　葉　会

昭和63年卒

「横浜中華街グルメの旅」と題しました新葉会クラス会が平成28年11月23日（水・祝）に横浜中華街 萬珍楼點心舗で11時より開催されました。昨年の同窓会創立120周年にあわせてのクラス会(平成27年11月29日）にて今回の開催が提案され横浜出身在住者の幹事のもと学年副主任としてお世話になりました生理学講座教授 田﨑雅和先生をお招きし同期生25名が集った会となりました。総会では渡邊宇一君の司会進行により寺田仁志君のクラス会代表挨拶から始まり会務報告，そして今年２月に亡くなった田中清貴君への黙祷を奉げ在りし日の田中君を偲びました。その後，田﨑先生より乾杯のご発声を頂き大学の現在の様子を伺いました。暫しの歓談と参加者近況報告で和やかな雰囲気の中，美味しいお料理を堪能致しました。今回のお料理は全部で８品。まずは花月前菜，八珍フカヒレスープに続き大海老の紅白作り，ふかひれホタテ餃子，和豚とエリンギのXO醤炒め，真鯛の姿煮，大山鶏のあんかけ炒飯蓮の葉包み，そして密意二重奏と名づけられたチャイナスイーツでお料理の最後を締めくくられました。皆さんそれぞれ気に入ったお料理の品は違った様でしたが男性女性問わず楽しめる内容でした。中締め挨拶を組織・発生学講座教授 山本仁君に頂き歓談後，記念撮影をしてお店での懇親会を終えました。沢山の観光客で混み合う賑やかな活気溢れる中華街を観光しながら移動し関帝廟を拝観，屋外での記念撮影をいたしました。ここで一度解散をしてお時間のある方は引き続き散策しながら山下公園へ向かいマッカーサー元帥が滞在したニューグランドホテルから氷川丸と銀杏並木を見ながら季節を感じるひとときを過ごしました。山下公園からはシーバスに乗船し赤レンガ倉庫へと移動しました。あいにく曇り空で肌寒い日でしたが船内から見える横浜みなとみらい地区やベイブリッジは横浜らしい景色でこの季節の横浜を楽しむ事が出来ました。赤レンガ倉庫周辺を散策後，再びシーバスにて横浜ベイクォーターに移動，二次会を堪能し会を終えました。次回開催予定は平成30年の卒後30年記念クラス会です。多くの新葉会の皆様におめにかかれる事を楽しみにしております。

（金子育美 記）

111　期　会

平成18年卒

111期クラス会（同窓会）が平成28年10月９日（日），「銀座アスター御茶ノ水賓館」にて開催されました。卒後１年目での開催以来10年ぶりということもあり，70人以上の同級生が北は北海道，南は鹿児島，さらにはカンボジアからも集合し，学年主任・副主任の先生方も全員ご出席頂き大変盛会となりました。また，クラス会開催前には我々の卒業後に改築・新築された水道橋病院・校舎の見学会を行い，大きな変化を遂げて前進している東京歯科大学の現在の姿を目の当たりにすることができました。

当日は大串圭太君の司会進行のもと，本会の発起人である吉田秀児君による開会の挨拶の後，111期学年主任であったクラウンブリッジ補綴学講座・佐藤　亨教授のご挨拶を頂きました。さすがに我々も卒後10年以上経ち30代半ば以上になっているため，「歯医者とは？」みたいな堅苦しい内容ではなく，「健康」の大切さをテーマにした温かい内容のご挨拶でした。すでに家庭を持ち子連れで参加してくれた同級生も多数おり，また少し腹回りも大きくなった友人を見ると考えさせられるお話でした。そして，副主任を代表して口腔病態外科学講座・片倉　朗教授の乾杯のご挨拶の後，久保周平先生，関口一実先生，三穂乙暁先生，渡邊弘樹先生よりご挨拶を頂きました。

歓談の時間では久しぶりのクラス会ということもあり，臼田　頌君の名（迷）司会のもと参加者全員にマイクを渡し「近況報告会」を行いました。地元に帰って親の跡を継いだ人，開業してバリバリ稼いでいる人，大学に残ってそれなりの役職にもなり学生から怖がられてる人，子育てと仕事の両立に奮闘している人，この11年間に色々な人生があってみんなそれぞれ苦労しながら頑張ってきたと思います。

積もり積もった思い出話や近況報告に花を咲かせるうちに時間は過ぎ，最後はクラス会委員長の下島隆志君の閉会の辞と一本締めで楽しい宴は幕を閉じました。また参加者全員には小鹿恭太郎君が長年温めていた10年越しの卒業記念DVDがプレゼントされました。

前回の開催から気づいたら３回もオリンピックが開催されているということに時間が過ぎることの速さを痛感しましたが，今後は定期的にクラス会を開催し東京オリンピックの頃には再び同級生や学年主任・副主任の元気な顔を見たいと思います。それまでみんなが「健康」でありますよう切に願っています。　（大久保信貴 記）

OB会・グループ・サークルだより

東京歯科大学ラグビー部創立50周年記念行事開催される

平成28年５月３日（火・祝）に「東京歯科大学ラグビー部創立50周年記念行事」が盛大に開催されました。

東京歯科大学ラグビー部は昭和41年に同好会として発足し，昭和44年に部に昇格，これまでに関東医歯薬リーグ１部優勝１回，準優勝２回，歯学体優勝２回，三共カップメディカルセブンス現役優勝１回，OB優勝１回，準優勝１回と輝かしい歴史を残して来ました。

記念行事は「記念試合」と「記念式典」の２部構成で行われました。

「記念試合」はリコー砧グラウンドにて現役対OBで試合を行い，良い汗を流しました。事前に年齢や普段の運動状況を考慮して，試合に参加できるOB，見学のみとするOBの希望を募ったのですが，見学希望としたOBも自然とジャージに着替えてグラウンドに立ち，いつのまにか楕円球を追いかけていました。20代～70代までのOBがともにプレーし，往年のプレーをした，つもりのプレーを披露したりで，現役時代に戻ったような楽しい時間でした。

「記念式典」は会場をホテルメトロポリタンエドモントに移して行われました。式典にはご来賓６名，全国からOB・OGと同伴者で83名，現役学生14名が出席しました。

OB会長の額賀康之先生（Ｓ47年卒）から，創部時代の思い出を盛り込んだ挨拶，ご来賓の大山秀元先生（関東医歯薬ラグビーフットボール連盟元会長），宇都宮正幸先生（同理事長）から関東医歯薬ラグビーフットボールリーグにおける東京歯科大学ラグビー部の戦績と功績をおり交ぜたご挨拶をいただきした。乾杯の後，現ラグビー部部長の武田友孝スポーツ歯学研究室准教授から現在の部の状況と部員紹介がおこなわれました。

歓談中には，各年代から集められた思い出の写真がスクリーンに映し出され，話したいOB・OGが自由にマイクを持ち，思い出を語り，おおいに盛り上がりました。市川グラウンド，稲毛グラウンドでプレーしていた頃の懐かしの写真の他に，10周年記念の台湾親善試合，20周年のシンガポール遠征，30周年のオーストラリア遠征，秋田合宿，菅平合宿，函館遠征，２回目のオーストラリア遠征，クラブ旅行などの写真も映し出され，変わらぬ面影に大きな歓声が上がりました。そして，現役を代表して主将の柳生憲太郎君より新入部員の紹介がなされ，温かい拍手に包まれました。宴の最後には参加者全員が輪になり，校歌を合唱し現役主将の力強いエールにて締めくくられました。

伝統ある東京歯科大学において，ラグビーを通して寝食を共にした仲間と出会えたこと，50年目を皆で祝えた喜びを感じることのできた素晴らしい祝賀会となりました。

（平成５年卒　原　俊浩 記）

写真が同窓会ホームページ≪http : //www. tdc-alumni. jp≫に掲載されています。

すいどうばし

市川病院の火災

水　川　秀　海（昭和34年卒）

予科時代は２年間に過ぎなかったが終生忘れ得ぬ思い出が数多くある。市川病院の火災もその一つだ。

写真には写っていないが奥に第３，第５病棟があった。これは私達が予科校舎として使用していたものを改築したもので昭和30年１月15日出火全焼した。当時予科生であった私は市川市国分に下宿していた。当時国分には民家は数軒しかなかった。１月15日未明「大変，学校が火事ですよ」という下宿のおばさんの金切声で外に出て見るとたしかに学校の方から火の手が上っていた。直ちに学生服に着替え現場に急行した。火の見櫓の半鐘の乱打が始まった。道路のはるか前方に小柄な男の影が見えた。同期の鷲津邦雄君（故人，卒後東大口腔外科より癌センター勤務，口腔癌治療の道を拓いた）であった。

最初新校舎から出火しているように見えたが近づくと改築したばかりの病棟であることが判明した。現場に到着した直後消防隊による放水が開始されたが木造の病棟は想像以上に火の廻りが早くたちまち全焼した。すでに多勢の患者が入院していたが着の身着儘で看護婦に誘導されて本館に収容された。

消火に駆付けた予科生は私の他前記鷲津君と小山秀雄君（同期，現長野県開業）の３名であった。病院玄関前で高達先生（市川病院歯科部長）と木下隆治教授（予科主事）に会った。木下先生はジャンパー，長靴，懐中電灯持参という完全武装の姿であった。病院の近くに職員住宅があり多くの先生方も住んでいたが皆丹前姿で茫然自失の状態であった。木下先生に「さすが予科主事の先生」と言うと苦笑して「寝巻姿で外に出てみると病院が火事なので腰を抜かし氷の張った池（当時職員住宅の近くに池があった）に滑り落ち家に帰って着替えた」と云う話であった。

昭和28年頃の市川病院と予科校舎
ジーベン会のアルバムより

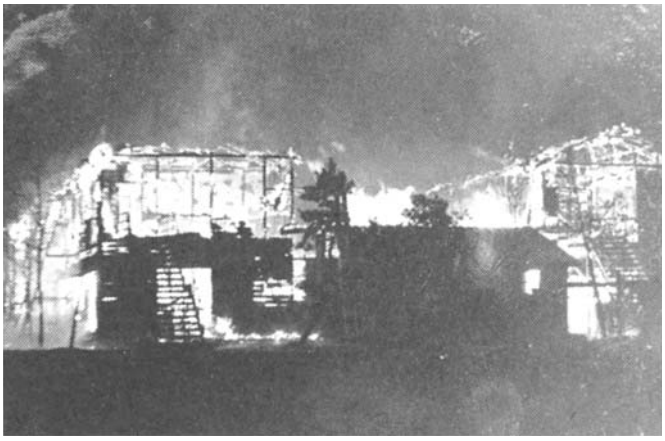
私達予科生３名は木下教授の指揮下に入り病院玄関に机，椅子を並べ焼跡対策本部の貼紙を出して火事見舞の来訪者や新聞記者と対応することになり，さらに私は大井病院長と鈴木内科部長に電報を打つ様指示された。当時両先生の家には電話がなかったのである。病院の自転車で電報局に向った。夜が白々と明けて来た。寒い日で消火活動で濡れた学生服は凍り付いた。「電報の方はこのボタンを押してください」という小さな貼紙がありこのボタンを押したけれど体がガチガチで自転車から降ることが出来ず横転した。宿直職員に助けられストーブにあたって生気をとりもどし「サンゴ　ビヨウトウ　ヤケタ，カンジ　ヤミナブ　ジ　」のウナ電を打った。

病院に帰ると小山君が見舞客，鷲津君が新聞記者の対応に追われ

ていた。小山君は大正生れの元陸軍軍人で鷲津君も療養生活で年を食った人であったので病院職員のピンチヒッターには見えなかった。後日大井病院長から私達３名に，消火にいち早くかけつけた上に対策本部をたち上げる等活動著明であったとして表彰状の話があったが，消火にかけつけたのは学生として当然の行動で，その後は木下教授の指示に従ったまでとして小山君が代表してお断りした。

市川病院は昭和33年には真間川の増水で水害にあった。「30年には火攻め，今度は水攻めだ」と言われた鈴木内科部長の言葉が印象に残っている。

私は卒後足利赤十字病院歯科に勤務するかたわら群大第２病理の研究生になった。教授の大根田玄寿先生と市川病院鈴木内科部長は慶応大医学部の同期生であった。当時足利日赤歯科部長は母校昭和７年卒の相場市良先生で私は昭和43年まで勤務し浜松市で開業した。後年，日本歯科医史学会で慶応義塾大医学部予防歯科医学研究所について報告するため古書店を通じて収集した資料の中に相場先生の蔵書があった。ご子息が銀行マンであったので先生が他界された時売却され，それが廻り廻って私の手許に来たのである。運命の不思議を感じた。



昭和30年１月15日午前５時30分出火
第３，第５病棟が焼失した
東京歯科大学百年史より

昭和33年９月27日
台風による集中豪雨のため床上53cm の浸水
東京歯科大学百年史より

世界的指揮者　小澤征爾氏の父・開作先生は東京歯科医専卒

阿　部　晴　弘（昭和46年卒）

昨年の『文藝春秋』10月号の「満州のいちばん長い夏」大座談会で，征爾氏の兄，小澤俊夫（筑波大学名誉教授）氏が「当時，父は歯医者をしていましたが，満州に理想の国家を造るために奔走しておりました。・・・」と。

小澤開作先生は大正12年，満州（現在の中国，東北部）の長春に小澤歯科医院を開業するが，一方で満州青年聯盟に入り，満州事変や満州国建設を主導した板垣征四郎，石原莞爾らと同志となり，満州に王道楽土，五族協和をスローガンに，理想の国家建設を目指す民間のリーダーとして活躍した。また，日本が生んだ世界的な指揮者小澤征爾氏の父であり，征爾氏の名前は，板垣征四郎，石原莞爾の二人から一字もらって付けていることからも，二人との親しい関係が窺える。

インターネットのウィキペディアでは，小澤開作先生は山梨県出身。東京歯科医専（現・東京歯科大学）卒と記載されている。

早速，大学の同窓会名簿を調べ，同窓会本部に問い合わせるも，その名前はない。他に証明するものはないかと思い，小澤開作

先生について書かれた本を探した。

『昭和に死す』松本健一著，『石原莞爾と小澤開作』田中秀雄著には，明治31年，山梨県西八代郡高田村に，土木請負師の小澤新作，キクの長男として生まれ，高等小学校を首席で出た後，中学校には行かず，上京して働きながら，夜は東京歯科医専に通い，当時としては最年少の18歳で歯科医師検定試験に合格したと記されている。

当時，東京歯科医専は昼間の学校であり，夜，通ったとすると東京歯科医学校ではないだろうか。東京歯科大学では東京歯科医学校の人たちも，歯科医専の人たちと同じ卒業生としている。だが，残念ながら東京歯科医学校の人たちの名前が抜けていることがある。

小澤開作先生は大正６年，歯科医師検定試験に合格するが，厳しい状況での労働と勉学によるのであろう，結核を患った。しばらく故郷で病を癒し，体力の回復をはかると，大正９年満州に渡り，医師になるべくシベリア鉄道で更にドイツを目指したが，運悪く中耳炎になり目的を断念。大正12年，長春で歯科医院を開業した。

戦後は，戦前の八面六臂の活動家とは逆に，川崎市に小澤歯科医院を開業し，地域の人たちに慕われる腕のいい歯医者として静かな時代を送った。昭和45年11月21日，71歳で亡くなっている。

このことについては，『父を語る』小澤征爾編に詳しい。

小澤開作先生
「父を語る」小澤征爾編より

国試問題に挑戦！

前月号に続き今回も臨床検査病理学講座教授の井上先生に選択していただきました。
今回は血液検査に関わる問題です。前回より少し難しいかもしれません。

１：27歳の女性。顎変形症の手術を希望して来院した。時々立ちくらみや、眩暈を自覚しているという。血液検査の結果を示す。原因はどれか。２つ選べ。

a　脱水
b　慢性出血
c　アレルギー
d　鉄分摂取不足
e　ビタミンＢ12欠乏

２：プロトロンビン値（PT-INR)が延長する疾患はどれか。1つ選べ。

a　糖尿病
b　肝硬変
c　腎不全
d　リウマチ
e　高血圧症

赤血球	357万/μL
ヘモグロビン	8.5g/dL
ヘマトクリット	29.8%
白血球	4,500/μL
血小板	22万/μL
白血球分画	
好中球	65.2%
好酸球	0.5%
好塩基球	0.3%
単　球	6.0%
リンパ球	28.0%
血清鉄	17μg/dL
TIBC(総鉄結合能)	487μg/dL(基準値　246～396μg/dL)

第109回歯科医師国家試験問題
平成28年1月30日、31日実施

答えは46ページに掲載されています。

庶　務　日　誌

１月

1）　理事会

１月25日（水）　第１回常任理事会

2）　委員会

１月12日（木）　広報部広報委員会
13日（金）　会務運営協議会
16日（月）　会務運営協議会
17日（火）　渉外部渉外委員会
17日（火）　事業推進部学術委員会　運営委員会（ベーシックセミナー打合せ）
19日（木）　総務・厚生部総務厚生委員会
21日（土）　渉外部渉外委員会（小委員会）
23日（月）　総務・厚生部新進会員のつどい実行委員会
23日（月）　事業推進部学術委員会　運営委員会
30日（月）　総務・厚生部女性会員活動推進委員会
31日（火）　事業推進部学術委員会　企画会議

3）　出張

１月10日（火）　千代田支部新年会　　矢﨑会長出席
14日（土）　東京地域支部連合会新年交歓会　矢﨑会長，他役員出席
20日（金）　芝支部総会　　矢﨑会長出席
22日（日）　東京医科歯科大学歯科同窓会新年名刺交換会　矢﨑会長，臼井専務理事出席
27日（金）　浅草・下谷支部合同新年会　矢﨑会長出席
28日（土）　富山県支部学術講演会　講師・髙野伸夫先生（母校）

4）　事業

１月11日（水）　TDC アカデミア2017　卒後研修　TDC 研修倶楽部
18日（水）　TDC アカデミア2017　卒後研修　DSM
26日（木）　TDC アカデミア2017　卒後研修　歯科臨床を語る会

２月

1）　理事会

２月25日（土）　第１回理事会

2）　委員会

２月７日（火）　事業推進部学術委員会　運営委員会（ベーシックセミナー打合せ）
10日（金）　広報部広報委員会
14日（火）　渉外部渉外委員会
17日（金）　事業推進部社会保障制度研究委員会
20日（月）　会務運営協議会
22日（水）　事業推進部学術委員会　エンドセミナー打合せ
28日（火）　事業推進部学術委員会　運営委員会（ベーシックセミナー打合せ）

3）　出張

２月５日（日）　日本大学松戸歯学部同窓会創立40周年式典・記念講演・祝賀会　矢﨑会長出席
11日（土・祝）　岡山県支部総会学術講演会　講師・佐藤一道准教授（母校）
11日（土・祝）　埼玉県支部新年会　財部副会長出席
18日（土）　北多摩支部総会　90周年記念式典・祝賀会　矢﨑会長出席
26日（日）　三重県支部総会　　矢﨑会長出席

4）　事業

２月８日（水）　TDC アカデミア2017　卒後研修　TDC 研修倶楽部
15日（水）　TDC アカデミア2017　卒後研修　DSM
23日（木）　TDC アカデミア2017　卒後研修　歯科臨床を語る会

逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

（敬称略・届出順）

●昭 26 卒	山本 秀次郎（88歳）	神奈川県横浜市	28. 12. 9
●昭 20. 9 卒	橋本 元（92歳）	東京都世田谷区	28. 12. 2
●昭 35 卒	渡邊 修志（81歳）	長崎県長崎市	28. 12. 16
●昭 30 卒	中西 亨之（85歳）	三重県伊勢市	28. 12. 15
●昭 18. 9 卒	嶋田 啓三郎（94歳）	福井県福井市	28. 12. 22
●昭 20. 9 卒	上脇 英雄（93歳）	大阪府羽曳野市	28. 12. 18
●昭 27 卒	宮内 孝雄（87歳）	長崎県長崎市	28. 12. 31
●昭 22 卒	岡田 修二（92歳）	愛知県西尾市	29. 1. 6
●昭 29 卒	大竹 肇（92歳）	東京都杉並区	29. 1. 6
●平 1 卒	賀久 麻織（53歳）	東京都渋谷区	28. 1. 4
●昭 50 卒	山川 真知子（64歳）	千葉県市川市	27. 3. 7
●昭 51 卒	内山 登美枝（64歳）	新潟県長岡市	29. 1. 7
●昭 24 卒	皆川 清利（87歳）	神奈川県横浜市	29. 1. 16
●昭 22 卒	山崎 文男（92歳）		28. 8. 2
●昭 34 卒	酒井 潔（81歳）	東京都大田区	28. 12. 30
●昭 23 卒	近常 良孝（90歳）	岡山県岡山市	29. 1. 24
●昭 32 卒	武田 清（84歳）	栃木県大田原市	29. 1. 23
●昭 23 卒	市場 保（91歳）	岡山県岡山市	29. 1. 24
●昭 24 卒	下田 一郎（90歳）	宮城県仙台市	29. 1. 17
●昭 41 卒	鈴木 捷弘（74歳）	東京都世田谷区	26. 11. 1
●昭 37 卒	片桐 重雄（80歳）	神奈川県横浜市	29. 2. 2
●昭 31 卒	安藤 猛（86歳）	北海道小樽市	29. 2. 4
●昭 26 卒	高田 敦孟（90歳）	愛知県新城市	29. 2. 6

一期一会（いちごいちえ）　－中西亨之君との出合い－

嶸驥会（昭和30年卒）

「一期一会とは生涯にただ一度まみえること」と辞書にありますが，私にはこれまで二回訪れています。その一つは家内との出会いですが，それはさておき中西君との話を進めます。中西君を知ったのは旧制大学令の大学予科の新入生自己紹介の場でした。彼は関西弁で特徴あるアクセントと抑揚で「伊勢から来たナカニシです」と大声で自己紹介をしました。それが今でも耳に残っています。彼とは同じクラスに配属されたのですが，彼は山岳部，私は山登りには全く関心のない無趣味な男でしたので深い付き合いは無く，ただクラスメートという仲で大学時代の大半は付き合っていました。然し彼は誰彼と関係なく広く付き合っている社交家でした。卒業後家内と私が２ヵ月に亘る入院を余儀なくされた交通事故のとき奥さんも含めて２回も伊勢から見舞いに来てくれ，また，最近では家内が腰痛の再手術の時もわざわざ伊勢から見舞いに来てくれました。彼は話し好きで，骨の老化にはイワシの一日干しを１，２本毎日食べるのがいいんだよ。今度送ってあげるよ。歳をとったら紳士靴は駄目だよ，ウオーキングシューズにしなければとか，車の免許はもう返上した，どこに行くにも歩いて行くのだなど参考になることばかり話してくれました。その日は病院から席を移して二人で東京駅の地下で中華料理をつまみながら色々な話しを続けました。山の話や，歯科医療の話は全く出ませんでした。開業していて分かったことで，地区の役員が，偽証までして自らの保身を図り，平気で同業者を裏切っていた，全く許せないなどと，義憤に駆られて話していました。話はそれから人間性のはなし，歴史の話，宗教の話など次々と互いに話題を広げ，時の経つのを忘れるほどでした。気がつくと二人ともこんなに気の合った会話をしたのは初めてだと互いに頷きあい，初めて親友に出会ったと感激しあいました。

84歳になって初めて得られた一期一会でした。その後二人は旅行などして親交を深めあいました。

８月になって彼が病に倒れ入院したと知らされ，早速，見舞いに行きました。思ったより元気に見えましたが，胆のう癌とかで胆嚢や肝臓・胃・小腸などの一部を切除された。でも明日退院出来るかも知れないとのことで別れました。然し三日後自宅に戻った彼は容態を悪くし，近くの日赤病院に入院しました。数日後，彼は退院して自宅に戻りました。

その翌日，倉橋に会いたいとのこと，私はすぐさま伊勢まで飛んで行きました。彼は喜んで一緒に食事をしたかったと言っていたので，夕飯と翌日の朝食を一緒にとり（といっても彼は殆ど食べませんでしたが），思ったより血色もよく，元気だったので，よかったと安堵し，別れ際に握手しながら衝動的に彼に抱きつき頬ずりして，治ったらまた旅行しようねと元気づけて別れました。

それから，一週間後，「父は息を引き取りました」と同窓の娘の以穂さんから知らせを受け，驚きました。どうして，どうなったのとの問いに「お会いした時は，もう，全身に癌が転移していて，痛みもあったのでオピオイドの服用が始まり，あまり余命がないとの判断で，自宅に帰ることになったのです」とのことでした。

思わず彼に抱きついて，頬ずりして，また，会おうねと言って別れたのは，虫が知らせたのでしょうか。この二日間父はとても喜んでいたと言われ，私も期せずしていいことをしたなと自らを慰めました。

私たちの一期一会は斯くして終わりを告げました。

彼を失った悲しみと寂しさは，こころの奥底からこみあげるような，深い寂しさと悲しみです。この様なことははじめての経験です。

さようなら，中西君！君との思い出は生涯忘れないよ!!

合掌

（昭和30年卒・倉橋和啓 記）

◆投 稿 規 定

※平成26年度より，偶数月発行から年間４回（２，６，10，12月）の発行になりました。

(1) 原稿締め切り
原稿の締め切りは，発行前月の10日までとし，原則として締め切り翌月発行の会報に掲載いたします。ただし今年度に限り10月号の締め切りは９月１日とさせて頂きます。ご注意下さい。

(2) 投 稿 様 式
投稿は原稿用紙に横書きとし，便箋などの使用はご遠慮下さい。ワープロ等電子機器使用の場合は１行15字で設定して下さい。写真はピントのあったものを，大きいサイズ（２Ｌなど）で集合写真のみでなく，スナップなども添えて下さい。

(3) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし，紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので，ご了承下さい。なお，掲載については委員会にご一任いただきます。

(4) 写真等の返却
写真等は，原則として返却いたしませんが，特に貴重な写真の場合は，その旨書き添えて下されば返却いたします。写真は同窓会ホームページにも掲載されることがあります。

(5) 投 稿 字 数

投稿欄	内容	文字数，備考
追悼	故人の追悼文	600字程度でお願いしています。
すいどうばし いなげ	随想，詩，短歌，時評など	１編1,700字程度（１ページ）。投稿者本人にしか解らない思い入れや，取り止めのない随筆はご遠慮いただき，出来るだけ大学や同窓会に縁（ゆかり）あるものが望ましい。
支部のうごき クラス会だより		１ページ1,700字程度（１ページ以内でお願いします） 写真が入る場合下記を参考に文字数を減らしてください。 全員の集合写真は720字に相当，会場風景や大勢のスナップ写真は360字相当，数人のスナップ写真は120字相当で掲載します。 尚，同窓会ホームページよりひな型をダウンロードできますのでご利用下さい。

電子メールでの投稿は同窓会ホームページ
http : //tdc-alumni.jp/organization/dousoukai/kouhoubu/をご覧下さい。

投稿送付書

郵送で投稿の方は下記送付書に内容を記載し，同封をお願いします。

お名前（漢字）		フリガナ	所属支部　　支部
卒業年数（どれか１つ）	（昭和・平成・西暦）＿＿＿＿＿＿ 年卒 ／ ＿＿＿＿＿＿ 期卒		
住所（自宅・勤務先）	〒		
電話番号（自宅・連絡先）	－　　－	FAX 番号	－　　－
投稿先 □に√印チェック	同窓会会報　□カラーグラビア　□追悼　□支部のうごき □ふるさと自慢　□すいどうばし　□いなげ □クラス会だより　□OB，グループ・サークル		
貼付写真枚数	枚		
その他ご希望	（例　写真の順番・重要度など）		

◆へんしゅうこうき　★例年と同じくインフルエンザが流行の時期に入りましたが，しかし，今年はどうやらノロウイルスへの感染の方が頻繁に耳に入るようです。ノロウイルスは感染後の潜伏期間が24～48時間とされ，症状は主に吐き気，嘔吐，下痢，腹痛などですが，発熱はあまりありません。従ってインフルエンザウイルスの感染症とは，比較的見分けがつきやすいようです。感染経路としてはノロウイルスを含む糞便やおう吐物からの手を介しての感染が多く，次いで飛沫感染，食品を介しての感染となっています。またこのウイルスに対する抗ウイルス剤は存在しないので，数日間の対症療法を行うこととなります。ノロウイルスもそうですが，身の回りには様々な感染症の危険が存在します。これらに対する一番の予防法は，その感染症についての知識を充分に学び身に付けることだと思います。私もこれを機にあらためて勉強し直そうと思いました。

★昨年４月より，広報部広報委員会の委員を仰せつかり約８カ月が経過しました（平成28年12月現在）。東京歯科大学同窓会会報の制作・編集につきましては，今まで関わった経験が無く，全くの無知の状況からのスタートとなりましたが，何とかご迷惑をおかけすることなく今現在を迎えることが出来ました。これも各ご担当の先輩委員の方々のご指導や，お力添えのおかげであります。本紙面をお借りし，厚く御礼申し上げる次第です。本誌の制作にこれほどまでに多くの方々の並々ならぬ情熱とご努力があることを目の当たりにし，私自身も母校についてあらためて見つめ直す良いきっかけとなりました。これからも本誌のさらなる充実と発展に向け，微力ではありますが，ご協力させて頂ければ幸いです。今後とも宜しくお願い致します。　（末原正崇 記）

国試問題答え　１：b, d　　２：b

広報部広報委員会

委 員 長：昭和53年卒 臼田　準
副委員長：昭和61年卒 福井　雅之
：平成４年卒 西村　哲雄
：平成７年卒 山口　雅史
委　　員：昭和60年卒 奥野　圭子
：昭和60年卒 佐々木葉子
：昭和60年卒 皆川　雅彦
：昭和63年卒 渡邊　宇一
：平成３年卒 島田　篤
：平成４年卒 本間　敬和
委　　員：平成９年卒 末原　正崇
：平成10年卒 横田　東生
：平成16年卒 菅原　圭亮
協力委員：昭和58年卒 古澤　成博
：昭和62年卒 北村　晃
：昭和63年卒 岩田　昌久
：平成１年卒 長岡未佐子
：平成11年卒 片山　明彦
広報部担当副会長：昭和57年卒 冨山　雅史
担 当 理 事：昭和56年卒 小池　修
：昭和61年卒 岡村美恵子

平成29年２月20日　印刷
平成29年２月25日　発行
東京歯科大学同窓会会報　第407号
同窓会ホームページアドレス
http://www.tdc-alumni.jp

発行人　小　池　修
編集人　臼　田　準
東 京 歯 科 大 学 同 窓 会
〒101-0061　東京都千代田区三崎町2－9－18
電　話（03）5275－1761
ＦＡＸ（03）3264－4859
印刷所　一 世 印 刷 株 式 会 社
〒161-8558　東京都新宿区下落合2－6－22
電　話（03）3952－5651（代）